

令和3年度（2021年度）

要 覧



熊本県立図書館・くまもと文学・歴史館

愛称：温知館

<目 次>

I	沿 革	1
II	組 織	4
1	組織図	4
2	職員の構成	4
III	令和3年度（2021年度）事業計画	
1	総論	5
2	県立図書館関係	6
3	くまもと文学・歴史館関係	17
IV	令和2年度（2020年度）度事業実績	
1	総論	19
2	県立図書館関係	20
3	くまもと文学・歴史館関係	34
4	令和2年度熊本県立図書館の取組	37
V	その他資料	
1	資料状況	39
2	利用状況	44
3	10年のあゆみ	48
4	施設の概要	51
5	熊本県立図書館利用規則	54
	（別紙1）熊本県内公共図書館一覧	
	（別紙2）令和元年度（2020年度）の県内公共図書館の概要	

I 沿革

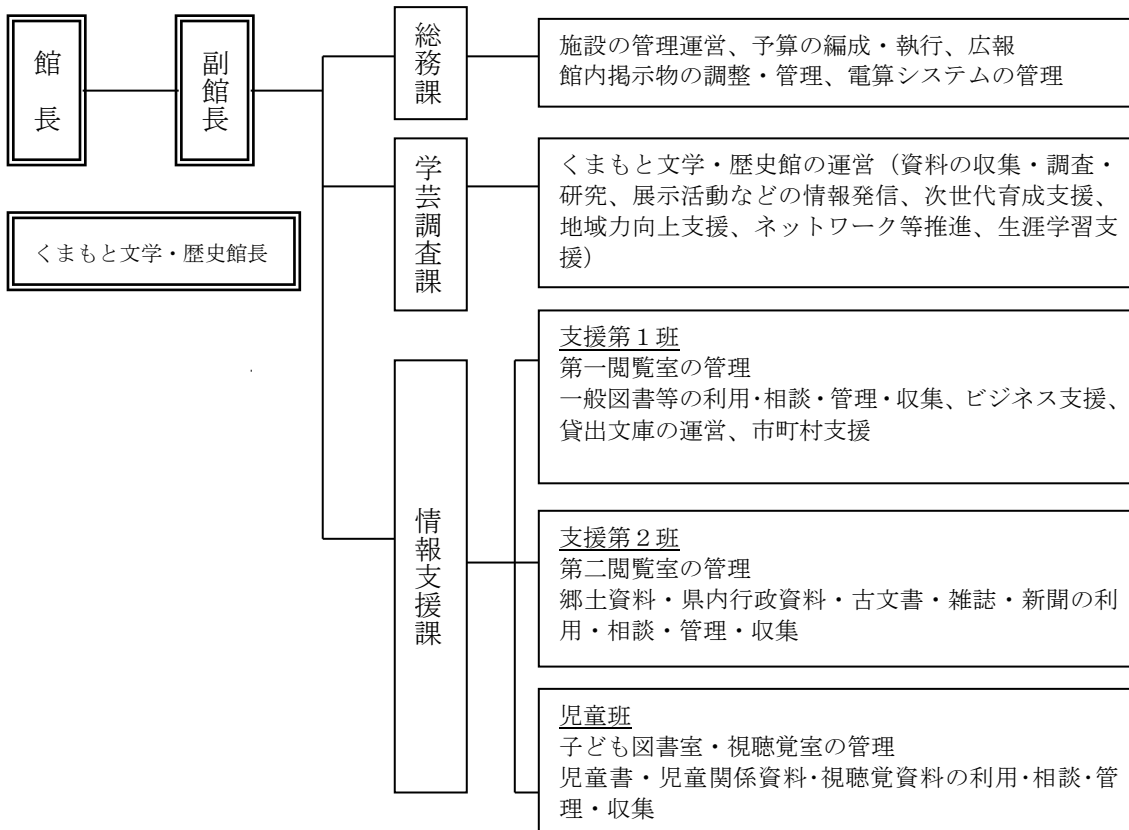
明治29年(1896)	9月	熊本県観聚館図書室として一般公開始まる(熊本市南千反畑町33)
明治44年(1911)	5月	観聚館隣接地に独立館舎完成
明治45年(1912)	4月	観聚館から完全に独立して「熊本県立熊本図書館」となる
明治45年(1912)	7月	夜間貸出し始まる
大正2年(1913)	5月	館外貸出し始まる
大正3年(1914)	8月	「巡回書庫」の名で、県下各地の公共図書館、県立学校への図書貸出し始まる
大正10年(1921)	7月	団体貸出し始まる
大正12年(1923)	4月	郡制廃止で玉名・宇土・下益城・球磨・芦北・天草の郡立図書館が県立移管となり県立図書館の分館となる
昭和3年(1928)	11月	児童図書の館外貸出し始まる
昭和4年(1929)	3月	前記6つの分館はそれぞれ郡教育支会の経営となる
昭和20年(1945)	7月	熊本大空襲により当時の全蔵書83,000冊と361坪の館舎を焼失
昭和21年(1946)	1月	長崎次郎書店(熊本市上通町4丁目)内に熊本図書館分室を設け開館
昭和21年(1946)	3月	熊本城内旧第6師団法務部庁舎にて開館 (旧陸軍幼年学校所蔵の蔵書等9,245冊)
昭和26年(1951)	10月	熊本県立図書館設置条例施行(昭和26年10月11日) 「熊本県立熊本図書館」は「熊本県立図書館」と改称
昭和33年(1958)	12月	熊本市千葉城町2番地に館舎落成、開館 総務・整理・奉仕の3課制となる
昭和33年(1958)	12月	有志の斡旋で「相良文書・相良家史料」を購入
昭和35年(1960)	8月	移動図書館車による県下全域への奉仕始まる
昭和36年(1961)		「童話コンクール」(現:熊本県童話発表大会)を開催
昭和38年(1963)	4月	3課6係制となる
昭和40年(1965)	4月	日曜休館を実施
昭和40年(1965)	6月	県資料室の設置
昭和42年(1967)	2月	別館竣工
昭和43年(1968)		郷土史家上妻博之氏の遺志により438巻にのぼる「上妻文庫」の寄贈を受ける
昭和45年(1970)	7月	3課7係制となる
昭和45年(1970)	10月	別館増築工事(2~3階)始まる
昭和46年(1971)	3月	別館増築工事(2~3階)竣工
昭和53年(1978)	11月	県立図書館建設委員会の設置
昭和55年(1980)		「子ども文庫」の貸出し始まる
昭和56年(1981)	10月	県立図書館建設に関する意見書提出される
昭和59年(1984)	3月	県立図書館新館・近代文学館着工(昭和59年4月21日、熊本市出水2丁目5番1号・江津荘跡地で起工式。)
昭和60年(1985)	7月	県立図書館新館・近代文学館竣工(昭和60年7月25日)
昭和60年(1985)	10月	県立図書館新館・近代文学館落成・開館式(昭和60年10月16日) コンピュータシステムを導入し、情報検索、貸出返却等の業務開始。
昭和62年(1987)	1月	県庁1階情報プラザに検索用端末を設置し利用開始
昭和62年(1987)	2月	第1回「郷土関係出版物展」を開催
平成2年(1990)	10月	電算機の更新 NEC ACOS410 → ACOS3300へ
平成3年(1991)	1月	利用者端末(愛称 アテナ)を2台設置
平成5年(1993)	4月	機構改革により、資料課が整理係・県資料係の2係、奉仕課が奉仕第一係・奉仕第二係・普及協力係の3係となる
平成6年(1994)	2月	図書館整備推進事業推進委員会から熊本県立図書館整備計画が提出される
平成7年(1995)	10月	電算機の更新 NEC ACOS3300 → PX7500へ
平成9年(1997)	6月	配本協力車(1台)を導入、移動図書館車(1台)の計2台で巡回開始
平成9年(1997)	10月	平成12年10月のコンピュータ更新について検討するため、「新コンピュータ・プロジェクトチーム」設置
平成12年(2000)	3月	熊本県書誌総合目録ネットワーク調査報告書を作成
平成12年(2000)	3月	移動図書館を廃止
平成12年(2000)	4月	移動図書館を廃止し、配本協力事業に全面切り替え

平成13年(2001)	3月	電算機の更新 NEC PX7500 → Express5800 へ 汎用コンピュータ方式 → クライアント・サーバ方式へ
平成13年(2001)	4月	ホームページによる蔵書検索やレファレンス受付、館内でのインターネットサービス、CD-ROM閲覧を開始
平成13年(2001)	9月	子ども図書室で「土曜おはなし会」開始
平成14年(2002)	4月	祝日開館始まる
平成15年(2003)	4月	子ども図書室で「赤ちゃんへのお話の時間」開始
平成16年(2004)	4月	休館日を、月曜日から火曜日へ変更
平成17年(2005)	2月	ビジネス情報コーナーを設置
平成18年(2006)	7月	パンフレットコーナーを設置(2階)
平成18年(2006)	11月	観光パンフレットコーナーを設置(3階)
平成19年(2007)	1月	土、日、祝祭日の閉館時間を午後5時から午後5時15分に変更。
平成19年(2007)	2月	第1回「よかよか本まつり」(本のリサイクルフェア)を開催(現:本活フェア!)
平成19年(2007)	3月	子ども図書室に子育て情報コーナー「エンジョイ子育てコーナー」を開設
平成19年(2007)	3月	コンピュータシステム機器を更新 データベースサーバの容量強化 120GB → 650GBへ。ホームページのレイアウト更新
平成19年(2007)	4月	1階通路で「ギャラリーパネル展」を開始
平成20年(2008)	4月	配本協力車を廃止し、宅配配本事業に全面切り替え
平成20年(2008)	4月	機構改革により、資料課と奉仕課を統合し、情報支援課となる
平成20年(2008)		第1閲覧室に「ヤングアダルトコーナー」を開設
平成20年(2008)	7月	商用データベースのプリントアウトサービス(有料)を開始
平成21年(2009)	4月	機構改革により、総務課が総務企画係の1係、情報支援課が支援第1係・支援第2係・児童係の3係となる
平成23年(2011)	10月	「第50回熊本県童話発表大会」を開催
平成24年(2012)	2月	所蔵図書にICタグ貼付完了 自動貸出機を設置し利用開始
平成24年(2012)	4月	子ども図書室リニューアルオープン 熊本県立図書館創立百周年記念式典及び記念事業の開催
平成24年(2012)	10月	熊本県立図書館創立百周年記念特別展「藩校時習館に学ぶ～その教育と俊英たち～」を開催
平成25年(2013)	3月	消費生活コーナーを設置(2階)
平成25年(2013)	7月	熊本県い業生産販売振興協会、熊本県豊工業組合からの畳の寄贈により、子ども図書室に畳を設置
平成25年(2013)	10月	熊本県立図書館・熊本近代文学館機能拡充整備基本計画書策定
平成26年(2014)	4月	機構改革により、総務課が総務係・企画係の2係、情報支援課が支援第1係・支援第2係・児童係の3係となる
平成26年(2014)	7月	老朽化した施設等の改修(空調設備改修・照明のLED化・貴重資料収蔵庫の整備等)及び機能拡充事業を行うため休館 熊本県立図書館 平成26年7月1日～平成27年3月25日 近代文学館 平成26年7月1日～平成28年1月27日
平成27年(2015)	3月	熊本県立図書館 平成27年3月26日 全面開館
平成27年(2015)	4月	機構改革により、総務課、学芸調査課、情報支援課(支援第1係・支援第2係・児童係)の3課となる 4階閉架書庫内に特別資料収蔵庫、子ども図書室内に授乳室を新設 1階に喫茶コーナー、展示作業室等を設置。和式トイレを洋式化
平成28年(2016)	1月	リニューアルオープンに伴い、名称を熊本近代文学館から「くまもと文学・歴史館」に変更 平成28年1月28日 全面開館
平成28年(2016)	4月	14日及び16日に発生した熊本地震により、2階、3階の照明設備の破損や落下、閉架書庫の書架の歪み等の修繕工事のため休館。6月1日から被害の少なかった1階子ども図書室及び文学・歴史館を開館し、2階、3階業務の一部を1階視聴覚室を利用し臨時開館を行う。
平成29年(2017)	3月	2階、3階の照明設備等の修繕工事がすべて完了し、3月29日全面開館
平成30年(2018)	3月	コンピュータシステム機器を更新 ホームページを更新・機能拡充 (熊本県内公共図書館等横断検索及びデジタルアーカイブ検索・表示機能等の追加)
平成31年(2019)	3月	「熊本県立図書館の新たな運営基本方針～知恵と力を生み出す「知の拠点」へ～」策定
平成31年(2019)	4月	処務規程の一部改正により、情報支援課が支援第1班、支援第2班、児童班の3班となる。

令和 2年(2020)	2月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月28日～3月31日まで臨時休館
令和 2年(2020)	3月	臨時貸出開始 3月19日予約受付開始 3月20日貸出開始
令和 2年(2020)	4月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館継続
令和 2年(2020)	5月	5月13日 臨時貸出終了
		5月14日 時間短縮のうえ開館(9:30～15:30) 一部業務のみ再開
		5月25日 全業務再開
令和 2年(2020)	8月	7月豪雨災害により施設及び蔵書が水没する甚大な被害を受け、業務が停止した芦北町立図書館にかわり、旧田浦町の地域活性化センター内に芦北町臨時図書館を開設
令和 2年(2020)	9月	9月11日 開館時間延長(9:30～17:00)
令和 2年(2020)	11月	新しい芦北町立図書館の開設準備に伴い、芦北町臨時図書館閉館
令和 3年(2021)	1月	熊本市とのインターネット予約貸出サービス開始

II 組織

1 組織図 (令和3年(2021年)4月1日現在)



2 職員の構成 (令和3年(2021年)4月1日現在)

		正職員	会計年度任用職員	合計
図書館	館長	1		1
	副館長	1		1
	総務課	6		6
	学芸調査課	6 (2) (5)	5 (3) (2)	11 (5) (7)
	情報支援課	18 (13)	22 (14) (2)	40 (27) (2)
くまもと文学・歴史館長			1	1
合計		32 (15) (5)	28 (17) (4)	60 (32) (9)

※ () 内の数字は、職員のうち司書・司書補資格者数

< > 内の数字は、職員のうち学芸員資格者数

Ⅲ 令和3年度（2021年度）事業計画

1 総論

県立図書館の運営は、平成31年（2019年）3月に策定した「熊本県立図書館の新たな運営基本方針～知恵と力を生み出す「知の拠点」へ～」に沿って事業の実施に努めます。

この計画に基づいて施策を展開し、年度ごとに成果や課題の検証を行い取組みの改善を図りながら、県民や利用者のニーズに対応できるようサービスの充実に努めてまいります。

〔4つの基本方針〕

1 熊本の暮らしを支える

熊本における「図書館の図書館」として、市町村立図書館等との連携のもと、全県域を対象にした、県民の暮らしを豊かにするための読書の推進等につながるサービスを提供します。

また、子育てや医療、福祉等の生活上の課題や、熊本らしさや時機を踏まえた各種産業における企業及び事業の改革・改善等の仕事上の課題など、県民の生活や仕事の上での課題の解決を支援するためのサービスの充実に図り、情報の面から県民の暮らしを支えます。

2 熊本の学びを支える

熊本で暮らす人々や熊本で働く人々が生活を豊かにし、仕事を円滑に進めるために必要とする知的ニーズに的確に対応するなど、熊本における人々の学びを支援するためのサービスの充実に図ります。

また、熊本県民が熊本をより深く理解するために行う活動に加えて、県外や海外の人々の、熊本について知りたい・学びたいというニーズに対応するなど、熊本についての学びを支援するためのサービスの充実に図ります。

3 熊本の文化を発信する

当館が所蔵する古文書等の歴史資料に加え、くまもと文学・歴史館（旧熊本近代文学館）がこれまでに収集・保存してきた熊本ゆかりの近代文学資料など、熊本の文学と歴史に関わる貴重な資料を確実に未来に継承するための取組を進めます。

また、当館が所蔵する熊本ゆかりの人々による文学作品の数々や約6万点に及ぶ古文書を中心とした数多くの歴史資料など、先人たちが遺した優れた文化を、郷土熊本の魅力として広く県内外に発信する取組の充実に図ります。

4 熊本の未来を創造する

子どもたちの感性を磨き、思考力や表現力を高め、創造する力を培うための読書活動を推進するとともに、「肥後っ子いきいき読書プラン（熊本県子どもの読書活動推進計画）」に沿った取組の確実な実施を図り、人生をよりよく生きる力と熊本の将来を担う力を身につけた子どもの育成につながる取組の充実に図ります。

また、当館を含めた公共図書館、公民館図書室及び学校図書館や大学図書館等の

関係職員の資質や技能の向上につながる取組の推進に加え、図書館界の動向や最新の読書活動を踏まえた、図書館の未来の姿を提案するための取組を推進します。

2 県立図書館関係

1 熊本の暮らしを支える

- ・市町村立図書館等連携のもと、全県域を対象とした、県民の暮らしを豊かにするための読書の推進等につながるサービスを提供します。
- ・県民の生活や仕事の上での課題の解決を支援するためのサービスの充実を図り、情報の面から県民の暮らしを支えます。

1 全県域を対象としたサービスの提供

(1) 市町村立図書館等との連携

① 相互貸借の強化

相互貸借による市町村立図書館等との連携を充実させます。

② 図書館システムの改善

図書館サービス向上に向けて、次期図書館システムで求められる新たなサービス内容を検討します。

③ 予約貸出サービス

令和3年1月13日（水）より開始した熊本市とのインターネットによる予約貸出サービスを実施するとともに、他の県内市町村との連携を進め、全県域における当館資料の利用を促進します。

(2) 市町村立図書館等への支援

当館職員の専門性や蓄積されたノウハウを活用し、運営相談や技術相談等に応じるとともに、市町村立図書館等におけるレファレンスへの対応の高度化や充実を支援します。

① 巡回運営相談

県内地区を7ブロックに分け、定期的に公民館図書室を含む市町村立図書館を訪問し、要望がある研修や助言・意見交換を実施

② 図書館担当者会議等への施設提供及び協力

図書館担当者が業務に関連する打合せ、相談、連携する場を提供、講師を担当する等の協力

③ 市町村・学校等への図書資料貸出

配本協力、相互貸借、一括貸出、子ども文庫貸出の周知、利用拡大を実施

④ 団体貸出の利用拡大

関係市町村を訪問し、市町村立図書館や学校図書館等における団体貸出の利用拡大の働きかけを行い、全県域における充実した資料の提供を図ります。

⑤ 県立図書館ホームページでの研修資料の公開

県立図書館ホームページ内市町村図書館専用ページにて、公開する研修資料の充実を図ります。

2 生活や仕事に役立つサービスの充実

(1) 県民や地域の課題解決への支援

① 県立図書館所蔵資料の周知と支援

当館所属資料についての情報や、当館が積極的に収集し充実を図る各種参考図書（レファレンスブック）、要望の多い図書資料（医療、法律、子育て情報資料等）、団体利用者向けの大型絵本（ビッグブック）等について情報提供を行い、利用拡大を図ります。また、新たなコーナー設置についても検討します。

② 利用者向けの県立図書館の利用案内の周知

全県域の県民に対して、当館のレファレンスサービス等の利用拡大のため、ホームページへの掲載等を通じて及び周知し利用拡大を図ります。

③ ビジネス活動や就労活動の支援につながる取組み

ア ビジネス関連図書コーナーの充実

ビジネス関連図書を第一閲覧室に備えて、ビジネス関連図書等の充実に努めます。

イ 起業・経営無料相談会および創業セミナーの開催

相談会：毎週日曜日（午前11時～午後4時）

創業セミナー：年2回

ウ 農業支援資料の充実

農業起業や就農支援についての資料の充実に努めます

④ 障がい者、高齢者向けのサービスの利用促進

大活字本やLLブックの資料充実、障がい者向けサービスコミュニケーションボード、リーディングルーペ、拡大読書機の提供、対面朗読やデイジー再生機等によるサービスの提供を通じて、全ての方が利用しやすい読書環境の整備に取り組みます。

⑤ 親しみやすい図書館づくり

ア 「くまもとの本」コーナーの充実

各閲覧室の熊本に関する本を集めたコーナーを設置

イ テーマ別図書資料の閲覧室内展示

毎月テーマを替えて閲覧室内で図書資料を展示

ウ 研修生等の受入

学生、教員等の職業体験及び各種研修等の受入

エ 図書館見学受入

幼稚園、保育園、学校、図書館等からの図書館見学を受け入れ、当館の利用の仕方や展示について説明を行う

⑥ 読書活動の推進

ア 「こどもの読書週間」記念行事のイベント実施（４月１７日～５月１２日）

※新型コロナウイルス感染症予防につき、イベント縮小予定
「ながーく愛されている絵本展」等

イ 夏休みイベントの実施

※新型コロナウイルス感染症予防につき、イベント縮小予定

ウ 「秋の読書週間」イベント等の実施（１０月２７日～１１月９日）

熊本県読書活動推進功労者及び優良読書グループの表彰
秋の読書週間にちなんだ特別展示

(2) 関係機関等との連携

ア 小中学生を対象とした調べ学習の支援

(ア) お天気教室 *熊本地方气象台との連携

目的：気象の基礎知識を学ぶ

対象：子どもたちと保護者

(イ) パスファインダーの提供

調べ学習に利用するパスファインダーの更新及び新規作成を行い、ホームページで紹介・ダウンロード用資料を作るなど、学校の調べ学習に関する支援を行う。(例：感染症について、SDGsについてなど)

※パスファインダー：資料の調べ案内。ある特定のテーマを当館で調べる際、そのテーマに関する資料や情報を収集する方法・手順についてまとめたもの。

(ウ) イベント情報の提供

県健康福祉部子ども未来課運営の「聞きなっせ AI くまもとの子育て」のLINEへ子ども図書室のイベント情報の提供を行う。

イ 情報ギャラリー展（通年）

県や、医療・健康、福祉、法律の関連機関等と連携し、1階廊下ギャラリーの展示スペースを利用して、県民に役立つ情報や生涯学習成果発表等、各種情報を発信

- ・令和2年度（2020年度）「家庭の日」あったか家族コンクール（くらしの安全推進課）
- ・被災文化財復旧情報発信（文化課）
- ・県科学展のご案内（熊本県立教育センター）
- ・Gidai（技大）のPR（熊本県立技術短期大学校）
- ・くまもと林業大学校のPR（くまもと林業大学校（林業振興課））
- ・国際交流員の紹介（観光交流政策課）
- ・国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会絵画パネル展（健康づくり推進課）
- ・アニメ・漫画コンテンツと連携した県南復興支援の取組みについて（観光交流政策課）
- ・熊本支援学校作品展（熊本県立熊本支援学校）
- ・保健環境科学研究所の取組紹介（熊本県保健環境科学研究所）
- ・全日本中学校水の作文コンクール熊本県優秀作品展（環境立県推進課）
- ・くまもと緑・景観協働機構「花と緑のまちづくり、応援します！」（くまもと緑・景観協働機構（都市計画課））
- ・～景観まちづくりに参加しませんか～（都市計画課）
- ・令和2年7月豪雨災害での法テラスの役割（日本司法支援センター熊本地方事務所（法テラス熊本））
- ・くまもとアートポリス建築展2021（建築課）
- ・鞠智城のPR（歴史公園鞠智城・温故創生館）
- ・第31回くまもと県民文化賞受賞者の紹介（文化企画・世界遺産推進課）
- ・くまもと手仕事文化の紹介（文化企画・世界遺産推進課）
- ・がん相談と緩和ケア（健康づくり推進課）
- ・犯罪被害者週間（くらしの安全推進課）
- ・水銀フリーの情報発信（環境政策課）
- ・人権啓発パネル展（人権同和政策課）
- ・農業研究センターが開発した品種・技術（熊本県農業研究センター）
- ・阿蘇世界文化遺産に向けたPR（文化企画・世界遺産推進課）
- ・くまもとの「生活排水」を考えてみるモン！（下水環境課）
- ・くまもんポート八代のPR（港湾課）
- ・宝くじ社会貢献PR、宝くじのしくみ（財政課）
- ・国際交流員の紹介（観光交流政策課）
- ・愛鳥週間用ポスター原画コンクール入賞作品展（自然保護課）

ウ 県庁地下通路での熊本県立図書館PR

7月 「没後40年横溝正史展」

11月 「かたくなにみやびたるひと—蓮田善明と文藝文化—（仮）」

2 熊本の学びを支える

- ・熊本で暮らす人々や熊本で働く人々の知的ニーズに的確に対応するなど、熊本における人々の学びを支援するためのサービスの充実を図ります。
- ・熊本県民はもとより、県外や海外の人々の、熊本について知りたい・学びたいというニーズに対応するなど、熊本についての学びを支援するためのサービスの充実を図ります。

1 熊本で学ぶ人に役立つサービスの充実

(1) 「調べる図書館」としての機能の強化

① 資料の充実と活用

ア 図書館資料の収集

(ア) 資料の充実

「調べる図書館」としての機能を重視したレファレンス用資料、各分野の専門書、ビジネス情報、子育て情報、健康・医療情報、法律情報や中高校生向けのヤングアダルト用図書などを積極的に購入し、充実に努めます。

(イ) 役割を意識した資料購入

資料購入については、レファレンス用図書をはじめ郷土資料等、県立図書館としての役割を意識した資料収集を行います。

R3 予算	2,850万円		
R2 繰越予算	938万円	計	3,788万円

イ 図書館資料や機能に係る周知

当館が提供しているサービス案内の資料等を作成・配付するとともに、HP等での周知を行い、図書館資料や機能の利用拡大を推進します。

② レファレンスの充実

ア レファレンス事例の公開

これまで行ったレファレンスの記録の蓄積と国立国会図書館協同データベースへの登録・公開を引き続き推進します。

イ レファレンス能力の向上

レファレンスブックの充実と職員の専門知識・能力の向上レファレンス資料の積極的購入と、職員の専門性向上のための研修を実施します。

ウ 希望者に向けたレファレンスガイダンスの実施

希望者に向け、レファレンスとは何か、どのように行えばいいのかを説明するガイダンスを開催します。

(2) 学びの場や学びを共有する機会の提供

① インターネット等を活用した情報の提供

ア ホームページ等の内容充実と利用拡大

当館ホームページやツイッター、フェイスブック等を活用したタイムリーな情報提供を行うとともに、ホームページにおける情報検索機能の周知と利用拡大を図ります。

イ 国立国会図書館デジタルコレクションの活用

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、専用端末によりデジタル画像を受信し、館内での画像閲覧等ができることについて、周知・広報に努め、利用促進を図ります。

ウ データベースの利活用方法についての広報周知・情報提供

当館が契約し無償で提供しているデータベースについて、利用者に対し活用方法を周知し、利用促進の拡大を図ります。

また、希望者に向けてデータベースの使い方を支援するミニ講座を開催します。

2 熊本を学ぶ人に役立つサービスの充実

(1) 熊本に関する資料や情報の収集

郷土熊本に関する新たな資料の掘り起こしとともに、資料の収集、及び適切な保存に努めます。

(2) 熊本に関する資料や情報の提供と発信

新しく刊行された郷土に関する出版物及び郷土在住者又は郷土出身者の著作による出版物を展示し、地域文化振興の一助とします。

3 熊本の文化を発信する

1 熊本の文化を守る取組の充実

(1) 館内資料の保存と活用

① 古文書、貴重資料等の修理の推進

県立図書館の古文書、貴重資料等の保存のための維持管理行為に係る研修・指導の実施により、職員の専門性向上を図り、資料の保存状態の向上に取り組みます。

事業名	開催回数	内 容	指導者等
資料保存のための維持管理行為に係る研修・指導	年8回	専門技術者の指導・研修を継続して実施。当館資料の適切な維持管理・修理に取り組む。	外部講師 (専門技術者)

早急な対応が必要な貴重資料等については、専門機関等による修復（修理）やデジタルアーカイブ画像の撮影を進め、ホームページで公開し、利用者への提供や展示に活用できるように取り組みます。

② 貴重資料等のデジタル化と提供

県立図書館が所蔵する貴重な古文書、絵図・地図等のデジタル化を推進し、ホームページでの公開やデジタルデータの提供、複製本での閲覧に供します。

③ 貴重資料等の活用事例の紹介

県立図書館が所蔵する貴重資料等が、活用された事例（TV番組や新聞、出版物等で掲載・紹介や、他の文化施設での企画展での展示など）をホームページ等で紹介します。

④ 資料の理解と活用に向けた広報

研修や見学の参加者（学生のインターンシップ等）に古文書や歴史資料の紹介、デジタルアーカイブの紹介、ホームページの紹介を行い、県立図書館所蔵の貴重資料に対する啓発に努めます。

（2）館外資料の保存

県内各地に保存されている古文書や絵図など、地域文化を理解するための貴重な地域資料について、所在情報の把握と集約に努めます。

くまもと文学・歴史館の調査研究事業として、大学や博物館と連携して館外資料の調査、研究を行います。

各地域での保管が難しい資料については、寄贈、寄託制度を利用して、適切な保存管理に努めます。

2 熊本の文化を発信する取組の充実

（1）くまもと文学・歴史館との連携による情報の発信

くまもと文学・歴史館が行う企画展等に関連し、図書館内の各閲覧室で関係する資料を集めて紹介するなど、「展示を見て、さらに図書館で学ぶ」という新たな「知の循環」を進める取組を推進します。

くまもと文学・歴史館内では、図書館閲覧室内資料展示の紹介をする等、相互に情報を発信します。

企画展

展 示 会 名	期 間	内 容
「没後40年 横溝正史展」 会場：展示室1・2・3	令和3年（2021年） 7月中旬 ～9月下旬	没後40年を迎える横溝正史について、友人・乾信一郎へ送った新発見書簡240通を中心に紹介する展示会。
「かたくなにみやびたるひと― 蓮田善明と文藝文化―（仮）」 会場：展示室1	令和3年（2021年） 10月中旬 ～12月上旬	くまもと文学・歴史館5周年記念展示。蓮田善明と善明が編集した「文藝文化」について紹介する展示会。
「文学と歴史でたどる	令和4年（2022年）	熊本市を中心に開催される第38回全

江津湖の記憶(仮称)』 会場：展示室1・2	3月中旬 ～5月下旬	国都市緑化フェアに合わせて、水前寺・江津湖について紹介する展示会
--------------------------	---------------	----------------------------------

収蔵品展

展示室1を会場に、所蔵資料を中心にした展示会を開催。

アーカイブズに見るくまもと16 3月19日～5月5日

アーカイブズに見るくまもと17 5月～7月

アーカイブズに見るくまもと18 R4年1月～2月

(2) 多様な方法を駆使した情報の発信

県立図書館が所蔵する貴重な古文書、絵図など、館内における展示や広報に加えて、様々な方法や媒体を通じて広く県民や社会に発信します。

くまもと文学・歴史館の企画展、収蔵品展の開催情報などの報道機関向け資料の提供を随時実施します。

○ ギャラリー展示（年間6回程度）

くまもと文学・歴史館と図書館を結ぶ廊下を使い、ギャラリー展示を実施。
（企画展の関連展示、トピックス展示等を不定期に変更予定）

4 熊本の未来を創造する

1 熊本の次世代を担う子どもの育成に向けた取組の充実

(1) 子ども図書室の取組の充実

赤ちゃんや幼児向け絵本をはじめ、児童向け資料、調べ学習用資料、中学生向け資料、子育て支援情報等の充実に努めます。

また、子どもの読書活動推進のために、県庁関係課と連携し、本に親しみやすい環境づくりと情報の提供に努めます。

① 肥後っ子いきいき読書プランに沿った事業の展開

ア 「こどもの読書週間」(4月23日～5月12日)

「ながーく愛されている絵本展」の展示・・・4月17日～5月12日
日本と世界で長く親しまれているロングセラー絵本の展示です。

イ たのしい絵本展

絵本の魅力と素敵な絵本の世界を楽しんでいただくためにテーマを設定して絵本を展示します。展示期間終了後は希望があった学校へ団体貸出を行います。

ウ おはなし会の開催

おはなしボランティアと協力して水・土曜おはなし会を実施し、英語のおはなし会や、行事や季節に応じた特別おはなし会も行います。

定例おはなし会

おはなし会名	日時	講師
赤ちゃんのおはなし会	第1,3水曜日(11:00～11:30)	県立図書館
土曜おはなし会	第1,3土曜日(14:00～14:40)	ボランティア

② 利用者に向けた読書活動推進事業

ア 発達段階に対応した読み聞かせ絵本ブックリスト等の作成と提供

子ども図書室で展示した資料のリストや、年齢別ブックリストを提供します。

イ 子ども向け利用案内やパスファインダーの充実

学校の調べ学習等で利用できるパスファインダーを用意し、自主的に情報を収集できる手段を提供します。

(2) 学校や家庭、地域との連携

① 指導者養成講座(肥後っ子いきいき読書環境づくり事業)の開催

開催回数	内 容	講 師	会 場
年1回	講演・実践発表	外部講師	県立図書館

② 熊本県読書活動推進功労者及び優良読書グループの表彰(10月)

③ 学校図書館への支援の充実

学校図書館等への積極的な貸し出しを推進するため、利用案内について周知するとともに子ども文庫等の団体貸出の利用が少ない地域への呼びかけ等に取り組みます。

学校図書館の運営や読書推進に関する情報の収集・提供の充実を図ります。

2 図書館の充実と発展に寄与するための取組の充実

(1) 図書館を支える人材の育成

① 図書館職員等の研修の充実

図書館サービス向上のために職員のスキルアップに努めます。

市町村、学校図書館職員等の資質向上を図るため、各団体と連携して各種研修を実施します。また、当館指導主事と学校や県立教育センター等との連携による研修や講座の充実を図ります。

ア 職場内研修の実施

月1回の館内整理日を利用して実施します。

実施月	研修内容
4月	「新転任者研修」「収入について」 「新たな運営基本方針について」
5月	消防訓練 「レファレンスについて」「IPMについて」
6月	「危機管理について」「接遇、電話対応について」 「著作権について」
7月	会計（支出）関係 「TRC MARC 研修」 ※（注1）
9月	「衛生管理について」「図書館システムとHPについて」 「市町村支援について」
10月	人権関係 「レファレンス共同データベースについて」 ※（注1）
11月	飲酒運転根絶について 蔵書点検前書架整理 本の修理
12月	館内大掃除
1月	会計（年度末支出の注意点について） 「古文書の保存・管理と修理について」 ※（注1） アンケート結果について
2月	館外研修復講 次年度の短期行動計画立案のためのグループワーク

※（注1）上記のうち一部（7月、10月、1月）開催の研修については、県内市町村立図書館等への参加案内予定

イ 館外で行われる研修への参加

他館、他県で実施される研修会、講習会への職員派遣を行います。

ウ 図書館関係職員研修会の開催

研修会名	開催回数	内 容	講 師	対 象
図書館関係職員研修会 (熊本県図書館連絡協議会事業)	年2回	図書館サービスの基本、レファレンスサービス(初任者研修、中・上級者研修)	外部講師 本館図書館職員	市町村立図書館(公民館図書室を含む)、教育委員会、学校図書館、大学図書館職員等
図書館関係職員等全体研修会 (熊本県図書館活動振興協議会事業)	年1回	公共図書館のあり方等に関する講演、事例発表等	外部講師 公共図書館関係者・県立図書館職員	市町村立図書館(公民館図書室を含む)、教育委員会職員等
地区別図書館関係職員等研修会 (熊本県図書館活動振興協議会事業)	県北・県南の2地区で各1回	公共図書館・公民館図書室が果たすべき役割と事例発表	公共図書館関係者・県立図書館職員	市町村立図書館(公民館図書室を含む)、教育委員会職員等
学校司書実践研修 (県立教育センター)	年1回	学校図書館司書を対象に、学校図書館の意義とその役割について実習を含めた研修	本館指導主事 本館司書	(学校図書館司書経験年数3年以下)
肥後っ子いきいき読書環境づくり事業 (指導者養成講座)	年1回	講演・実践発表	外部講師	市町村立図書館(公民館図書室を含む)、学校図書館職員等、幼稚園・保育園職員等

(2) 図書館振興に関する情報の発信

全国の図書館の動向や最新の情報等の収集を行い、ホームページや研修を通して市町村立図書館等や学校等に発信します。

3 くまもと文学・歴史館関係

1 文学・歴史館資料の整備充実

(1) 展示資料・図書購入

① 資料購入検討委員会の開催

② くまもと文学・歴史館資料収集のあり方についての検討

(2) 寄贈資料の受入・整理

乾信一郎氏図書資料、木下順二氏寄贈資料の整理を継続予定です。

(3) くまもと文学・歴史館所蔵特別資料のデジタル化

寄贈資料を整理する際に撮影を行い、デジタル化を進めます。

2 企画展の開催

(1) 「没後40年 横溝正史展」

会場：展示室1・2・3 7月～9月

没後40年を迎える横溝正史について、友人・乾信一郎へ送った新発見書簡240通を中心に紹介する展示会です。

(2) 「かたくなにみやびたるひと― 蓮田善明と文藝文化 ― (仮)」

会場：展示室1 10月～12月

くまもと文学・歴史館5周年記念展示。蓮田善明と善明が編集した「文藝文化」について紹介する展示会です。

(3) 「文学と歴史でたどる江津湖の記憶(仮称)」会場：展示室1・2

令和4年(2022年)3月～5月

熊本市を中心に開催される第38回全国都市緑化フェアに合わせて、水前寺・江津湖について紹介する展示会です。

3 収蔵品展の開催

収蔵品展「アーカイブズに見るくまもと」を3月～5月、5月～7月、1月～2月の期間で開催。各回ごとにテーマを設定し、熊本県公文類纂などの歴史資料と作家の自筆原稿などの文学資料による展示会です。

4 文学講座・講演会等の開催

(1) 企画展関連講演会、講座等

各企画展ごとに講師を選定し、講演会や講座を開催を予定しています。

(2) 職員の学校・社会教育施設等への出前講座

外部からの依頼により、文学・歴史について講座を開催します。

(3) 校外授業等の受入

中学・高校からの依頼により文学・歴史についての授業を開催します。

(4) 文学の博物館講座・実習の受入

学芸員養成のための博物館実習の受け入れます。

5 広報活動

(1) くまもと文学・歴史館報の発行

企画展、講演会等、1年間の活動のまとめを記録し、館報として発行します。

(2) 県立図書館ホームページへの企画展等の紹介

ホームページ、ツイッターによる情報発信を行います。

(3) 報道機関への情報提供

企画展の開催情報などの報道機関向けの資料提供を随時行っていきます。

6 調査研究事業

(1) 大学や博物館と連携しての資料調査

熊本県立大学との共同研究として、県内の文学関連資料などの調査を行います。

(2) 当館の収蔵品展「アーカイブズに見るくまもと」での所蔵資料の調査・研究

熊本県公文類纂やくまもと文学・歴史館所蔵文学資料などの調査を行います。

7 くまもと文学・歴史館友の会連携事業

くまもと文学・歴史館友の会の活動と連携し各種事業を開催します。会員約100名

(1) 定例事業

月案内発行	毎月1回発行	くまもと文学・歴史館の行事等を会員へ送付
文章勉強会	毎月1回開催	有志による文章講座
歴史勉強会	毎月1回開催	有志による古文書講座 図書館資料を使用

(2) 講演会・講座開催事業

友の会総会記念講演会	年1回実施
連続講座	年数回程度開催
湧水講演会	会員が講師になって開催する講演会 年数回程度開催

(3) 文学散歩

年2回程度、県内外の文学・歴史遺跡等をめぐります

IV 令和2年度（2020年度）事業実績

1 総論

令和2年（2020年）2月末から新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館となり、入館者数が前年度より減少しました。

一方で、臨時休館中のサービスとして、電話やインターネットによる図書の予約貸出を開始したことにより、ホームページアクセス件数は前年度より増加しました。

また、レファレンスについては、国立国会図書館が運営する「レファレンス共同データベース」へのアクセス実績により、その貢献を認められました。

〔入館者数〕

(人)

年 度	図書館	文学・歴史館	計	開館日数	一日平均		
					図書館	文学・歴史館	
令和2年度 (2020年度)実績	105,666	17,049	122,715	図書館 251 文学・歴史館 251	421	68	
参 考	元年度 (2019年度)	208,671	33,701	242,372	図書館262 文学・歴史館262	796	129
	30年度 (2018年度)	236,940	46,969	283,909	図書館291 文学・歴史館291	814	161
	29年度 (2017年度)	207,491	31,193	238,684	図書館276 文学・歴史館276	752	113

〔ホームページアクセス件数〕

年 度	アクセス件数		
	総数	月平均	
令和2年度 (2020年度)実績	420,505	35,042	
参 考	令和元年度 (2019年度)	287,848	23,987
	平成30年度 (2018年度)	260,771	21,730

2 県立図書館関係

1 熊本の暮らしを支える

1 全県域を対象としてサービスの提供

(1) 市町村立図書館等との連携

令和3年1月13日から熊本市との連携により、インターネットによる予約貸出サービスを開始。新たに熊本市の図書館及び公民館図書室等（計22館）においてWeb予約による当館資料の貸出及び返却が可能となりました。

(2) 市町村立図書館等への支援

① 巡回運営相談

巡回先	実施日	内容
実施なし ※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため		

② 図書館担当者会議等への施設提供及び協力

施設提供：図書館関係団体等への会議室提供

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③ 市町村・学校等への図書資料貸出

事業名	対象	貸出冊数	貸出期間	備考
配本協力事業	市町村立図書館(公民館図書室を含む)、県内小・中学校、高等学校、特別支援学校、県立社会教育施設	300冊以内	4ヶ月	宅配便 (往復県負担)
相互貸借事業	市町村立図書館(公民館図書室を含む)、県内小・中学校、高等学校、特別支援学校	依頼冊数	1ヶ月	送料負担 (貸出：県、 返却：借受館)
一括貸出事業	市町村立図書館(公民館図書室を含む)、県立学校、県立社会教育施設	2,000冊以内	1年以内	借受館等が来館し、 選書のうえ持ち帰り
子ども文庫事業	市町村立図書館(公民館図書室を含む)、県内小中学校、特別支援学校、幼稚園、保育所等	500冊以内	1年以内	借受館等が来館し、 選書のうえ持ち帰り

(貸出実績)

	令和2年度 (2020年度)		令和元年度 (2019年度)	
	件数	貸出冊数	件数	貸出冊数
配本協力(団体実数)	40	9,750	43	10,450
相互貸借	404	1,333	334	1,651
一括貸出	7	6,301	10	3,632
子ども文庫	14	3549	20	6,405
計	465	20,933	407	22,138

④ 被災図書館への支援

令和2年7月豪雨により被災し長期間の休館を余儀なくされた芦北町立図書館に代わり、芦北町の地域活性化センター内に「芦北町臨時図書館」を開設。令和2年8月8日(土)より令和2年11月29日(日)まで、当館の配本協力事業の資料を配置するとともに職員を派遣し、貸出等の運營業務を実施しました。

また、芦北町立図書館の水損した被災資料(郷土資料を中心に167冊)を預かり修復作業を行いました。

⑤ 図書館支援アンケートの実施

市町村立図書館等向けに熊本県立図書館に対する支援や今後求めていることを尋ねるアンケートを行い、今後の支援へと役立てました。

期間：令和2年(2020年)7月8日(水)～7月22日(水)

回答館：24館

回答数：149件

2 生活や仕事に役立つサービスの充実

(1) 県民や地域の課題解決への支援

① 県立図書館所蔵資料の周知と支援

閲覧机や自習スペースのデスクマットや掲示により、レファレンスサービスやデータベース等の図書館サービス利用促進に向けた周知を行いました。

② インターネット予約貸出サービスの周知

今年度新たに開始したインターネット予約貸出サービスについて、HPでの紹介の他、チラシを作成・配付するとともに、カウンターにて貸出や当館以外での返却方法について周知や説明を行いました。

③ ビジネス活動や就労活動の支援につながる取組み

ア ビジネス関連図書コーナーの充実

□ 蔵書冊数：2,572冊(令和2年度(2020年度)受入155冊)

イ 起業・経営無料相談会および創業セミナーの開催

連携先：地域診断士研究会(10名の中小企業診断士)

開催日：毎週日曜日(午前11時～午後4時)

定員：1回につき3名

相談時間：1回100分

相談内容：起業相談（起業全般）、経営相談（ビジネスプラン、経営管理、
販路開拓、資金に関すること）
相談件数：22件（令和2年度（2020年度））

④ 障がい者、高齢者向けのサービスの利用促進

大活字本の収集：1,673冊（令和2年度（2020年度）受入：67冊）
デイジー再生機、点字ディスプレイによる館内における読書環境の提供

⑤ 親しみやすい図書館づくり

ア 「くまもとの本」コーナーの充実

くまもとの本の収集：1,583冊
（令和2年度（2020年度）受入：58冊）

イ テーマ別図書資料の閲覧室内展示

期間	子ども図書室	第1閲覧室	第2閲覧室
R2(2020) 4月	○だいすき ともだち ※臨時休館中	※新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館のため未実施	○熊本地震関連コーナー （常設・通年） ○川上哲治生誕100年
5月	○だいすき ともだち ※中旬まで臨時休館	○「川上哲治 生誕100年」特集 ○第34回郷土関係出版物展にあわせて ○世界自閉症啓発デーにあわせて	○4.5月継続展示
6月	○しとしと ぱらぱら （雨の日を楽しむ絵本）	○梅雨にあわせて ○第34回郷土関係出版物展にあわせて ○くまもと文学・歴史館収蔵品展「安永路子の短歌を味わう」にあわせて	○お家で楽しむ（ハンドメイド・料理） ○アーカイブズ(16)文学歴史館展示に合わせる
7月	○うきうき わくわくなつがきた！ （夏を楽しむ絵本）	○日本書紀によせて ○くまもと文学・歴史館企画展『『新青年』創刊100年 編集長・乾信一郎と横溝正史』にあわせて	○夏休み、科学の世界を広げる ○乾信一郎展関連
8月	○ひゅ〜どろどろ おばけだぞ （こわい絵本）	○涼を楽しむ ○くまもと文学・歴史館企画展『『新青年』創刊100年 編集長・乾信一郎と横溝正史』にあわせて	○7.8月継続展示
9月	○はっけん！むしのせかい （虫に関する絵本）	○9月1日は防災の日 ○くまもと文学・歴史館企画展『『新青年』創刊100年 編集長・乾信一郎と横溝正史』にあわせて	○動物愛護月間 ○乾信一郎展関連（継続）

10月	○えほんのたびへしゅっぽつ！(旅やおでかけに関する絵本)	○食品ロス削減月間 ○くまもと文学・歴史館「絵図が語るくまもと」にあわせて ○読書で行楽の秋	○宇宙(そら)を見上げてみよう—10月火星最接近 ○絵図展関連
11月	○せかいじゅうのむかしばなし(昔話や童話に関する絵本)	○本で世界を旅する ○くまもと文学・歴史館企画展「絵図が語るくまもと」にあわせて ○本で日本を旅する	(10・11 継続展示)
12月	○せかいじゅうのむかしばなし(昔話や童話に関する絵本)	○年末年始に向けて ○ベートーヴェン生誕250周年 ○12月3日は奇術の日	○変わってきた繋がり方(手紙からネットへ) ○熊本の医療を振り返る
R3(2021)1月	○もーもー うしどしはじまるよ！(お正月や干支の牛に関する絵本)	○おかえりなさい！小惑星探査機「はやぶさ2」 ○くまもと文学・歴史館展「海と空のあいだに 石牟礼道子の文学世界 」にあわせて ○1月20日は二十四節気「大寒」です	○石牟礼道子展関連 ○変わってきた繋がり方(手紙からネットへ)(継続展示)
2月	○ぼかぼかのふゆ(こころやからだが温まる絵本)	○バレンタインデーにあわせて ○くまもと文学・歴史館企画展「海と空のあいだに 石牟礼道子の文学世界 」にあわせて ○2月最終日はRare Disease Day(世界希少・難治性疾患の日)	○石牟礼道子展関連 ○健康(コロナウイルス)関連
3月	○わたしの みんなのたんじょうび(誕生日や命の誕生に関する絵本)	○春に読みたい本 ○くまもと文学・歴史館企画展「海と空のあいだに 石牟礼道子の文学世界 」にあわせて ○九州新幹線全線開業10周年	(2.3月継続展示) ○令和2年に出版された郷土資料

ウ 研修生等の受入

職場体験事業等	受入先
図書館実習	尚絅大学
大学生の職場体験(インターンシップ)	熊本県立大学(夏季、春季)
障がい者インターンシップ	熊本県立熊本聾学校

エ 図書館見学受入

図書館見学	受入先
中学校	出水中学校
小学校	出水小学校、出水南小学校、砂取小学校
専門学校等	YMCAみなみセンター

⑥ 読書活動の推進

ア 「こどもの読書週間」記念行事のイベント実施（4月23日～5月12日）

行事名	開催日	参加者
ながーく愛されている絵本展	R2(2020).4.23（木） ～ 5.12（火）	休館中のため 0人

イ 夏休みイベントの実施

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

ウ 「秋の読書週間」の実施（10月27日～11月9日）

「秋の読書週間」に合わせ、本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、なかなか外に出ることができなくなったため、「読書で旅に出かけよう！」をテーマに、世界や日本、熊本、はたまた異世界の旅など、様々な場所について描かれた本に触れ、世界や地域に思いを馳せ、読書で旅行気分を味わっていただきました。

エ 令和2年度（2020年度）「くまもと教育の日」

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント等は中止

(2) 関係機関等との連携

① 小中学生を対象とした調べ学習の支援

ア お天気教室の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ パスファインダーの提供

調べ学習に利用するパスファインダーの更新及び新規作成を行い、調べ学習に関する支援を行いました。

※パスファインダー：資料の調べ案内。ある特定のテーマを当館で調べる際、そのテーマに関する資料や情報を収集する方法・手順についてまとめたもの。

ウ イベント情報提供

県健康福祉部子ども未来課運営の「聞きなっせ AI くまもとの子育て」のLINEへ子ども図書室のイベント情報などの提供を行いました。

エ 情報ギャラリー展（通年）

県や、医療・健康、福祉、法律の関連機関等と連携し、1階廊下ギャラリーの展示スペースを利用して、県民に役立つ情報や生涯学習成果発表等、各種情報の発信を行いました。

展示期間	内容	担当課等
5.30(土)～6.10(水)	第30回くまもと県民文化賞受賞者の紹介 くまもと手仕事ごよみ推進事業の紹介	文化企画・世界遺産推進課
6.13(土)～6.24(水)	ハンセン病問題の普及啓発	健康づくり推進課
6.27(土)～7.8(水)	保健環境科学研究所の紹介	保健環境科学研究所
7.11(土)～7.20(月)	熊本支援学校作品展	熊本支援学校

7.23(木)～8.3(月)	水銀フリーの情報発信	環境政策課
	～景観まちづくりに参加しませんか～	都市計画課
8.7(金)～8.17(月)	全国中学生水の作文コンクール熊本県優秀作品	環境立県推進課
8.21(金)～9.2(水)	熊本の水産業と将来の担い手確保に向けた取り組み	熊本県漁業就業支援協議会
9.5(土)～9.16(水)	「知っていただきたい法テラスのこと」	法テラス
9.19(土)～9.30(水)	里親制度に関するパネル展	特定非営利活動法人優里の会
10.3(土)～10.14(水)	くまもとアートポリス国際建築展	建築課
10.17(土)～10.28(水)	計量記念日のPR	熊本県産業技術センター
10.31(土)～11.11(水)	農業研究センターが開発した品種・技術	熊本県農業研究センター
11.14(土)～11.25(水)	犯罪被害者週間	くらしの安全推進課
	熊本県における環境教育の拠点～地球と人のやさしい結びつきを目指して～	熊本県環境センター
11.28(土)～12.9(水)	人権啓発パネル展	人権同和政策課
12.12(土)～1.6(水)	令和2年度熊本県子ども人権作品展	人権同和教育課
1.9(土)～1.20(水)	くまもとの「生活排水」を考えてみるモン!	下水環境課
1.23(土)～2.3(水)	くまもとやさしいまちづくりパネル展	健康福祉政策課 地域支え合い支援室
2.6(土)～2.17(水)	県内日本遺産及び日本遺産の日のPR	文化課
2.20(土)～3.3(水)	鞠智城の成立と変容	熊本県立装飾古墳館 分館歴史公園鞠智城・温故創生館
3.6(土)～3.17(水)	水俣病資料館サテライト展	水俣病保健課
3.19(金)～3.29(月)	小国支援学校作品展	小国支援学校

オ 県庁地下通路での熊本県立図書館PR

秋季企画展「肥後の絵図展」の紹介を展示。11月1日～11月30日

冬季企画展「石牟礼道子展」の紹介を展示。1月4日～2月28日

2 熊本の学びを支える

1 熊本で学ぶ人に役立つサービスの充実

(1) 「調べる図書館」としての機能の強化

① 資料の充実と活用

一般書をはじめとした各種資料購入等により蔵書を充実させるとともに、当館の資料や機能・サービスについて、HP等を活用し周知を行いました。

また、第1閲覧室の開架書架毎にある請求記号や分類の表示をより資料の配置がわかりやすいものに取替を行いました。

② レファレンスの充実

ア レファレンス実績

令和2年度（2020年度）	令和元年度（2019年度）
11,193件	10,013件

イ 国立国会図書館協同データベースへの登録・公開 計127件

ウ レファレンスブックの充実と職員の専門知識・能力の向上

レファレンスブックの受入411冊（令和2年度（2020年度））

エ レファレンスサービスの利用拡大

館内掲示等により、レファレンスサービス利用について周知を行いました。

(2) 学びの場や学びを共有する機会の提供

① インターネット等を活用した情報の提供

ア ホームページ等の内容充実と利用拡大

当館ホームページやツイッター、フェイスブック等を活用したタイムリーな情報提供を行うとともに、ホームページにおける情報検索機能の周知と利用拡大を図りました。

イ 地域連携のためのシステム改修

熊本市との連携をはじめ、利用者の利便性の向上や地域の図書館等とのより密接な連携を進めていくために、遠隔地サービスの機能の拡充を行いました。

ウ 国立国会図書館デジタルコレクションの活用

利用者向けに館内での利用案内について掲示するとともに、利用者からのレファレンスでの情報提供で活用しました。

エ データベースの利活用方法についての広報周知・情報提供

館内で利用案内の掲示等を行い周知するとともに、レファレンスでの調査において活用し、利用者への情報提供を行いました。

商用データベースの提供（7データベース）
 利用実績 439件（令和2年度 [2020年度]）

データベース名	検索内容
1 官報情報	官報検索
2 SMART判例秘書	判例、法令検索
3 熊本日日新聞記事	新聞記事検索
4 聞蔵IIテキスト	新聞記事検索
5 日経テレコン21	日経4紙等の記事や主要企業の情報検索
6 マガジンプラス	国立国会図書館所蔵雑誌、論文見出し検索
7 JRS経営情報サービス	中小企業経営に特化した経営情報 経営計画書、契約書などのシートやフォーム

2 熊本を学ぶ人に役立つサービスの充実

(1) 熊本に関する資料や情報の収集

① 資料の収集

行政資料 813点（購入 13点 寄贈 736点 複製資料等 64点）
 一般書 1,370点（購入 854点 寄贈 510点 複製資料等 6点）
 古文書 1,285点（購入 7点 寄贈 1,269点 複製資料等 9点）

② 郷土関係出版物展

「第34回郷土関係出版物展—ふるさと熊本ゆかりの著作物展—」

期日：令和2年5月25日（月）～6月8日（月）

会場：熊本県立図書館 3階 小研修室 （来場者：98人）

展示資料：平成31年、令和元年に刊行された郷土関係の出版物で当館が収集した資料約500点。熊日出版文化賞の受賞作品等、話題の資料も多数展示。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため日程を変更して実施

(2) 熊本に関する資料や情報の提供と発信

新しく出版された資料だけでなく、熊本県の歴史や文化を記した貴重な古文書も収集し、熊本を学ぶ人への情報提供に努めています。

江戸時代（慶長2年頃）の阿蘇神社の祭礼や国造神社、古跡の由緒、名勝、産物等を記述した「蘇溪温故」。江戸時代（宝暦6年頃）の熊本の神社・寺院・古跡・陵墓・器仗・伝説を郡別にまとめた地誌「肥後地誌略」を購入しました。どちらも郷土資料の基本書となる史料であり、大切に保存していくとともに、くまもと文学・歴史館での展示やデジタルアーカイブで公開することで多くの方に活用していただける環境づくりをしています。

3 熊本の文化を発信する

1 熊本の文化を守る取組の充実

(1) 館内資料の保存

① 古文書、貴重資料等の適切な保存管理と修理の推進

事業名	開催回数	内 容	指導者等
資料保存のための維持管理行為に係る研修・指導	年 8 回	専門技術者の指導・研修を継続して実施。当館資料の適切な維持管理・修理に取り組む。	外部講師 (専門技術者)

○ 貴重資料の修理及びデジタルアーカイブ用画像撮影（専門業者委託）

- 玉名郡寺田村両軍配置図
- 玉名郡小天村戦跡図
- 山本郡岩野村外五ヶ村両軍配置図
- 八代郡宮地村附近戦跡図
- 玉名郡青野村列五ヶ村両軍配置図

※ 経年による損傷が大きい西南戦争戦跡図の修理を実施しました。調査での需要も多く、文学・歴史館のアーカイブ展で展示される機会が多い資料です。

② 貴重資料等のデジタル化と提供

古文書や絵図、地図の資料を新たに 87 点の資料を順次デジタルアーカイブに公開しています。

③ 貴重資料等の活用事例の紹介

各機関から発行された出版物や論文等に資料として掲載された当館の資料をホームページで順次紹介しています。

令和 2 年度に 1, 199 点の古文書整理と目録作成を実施しました。

(2) 館外資料の保存

令和 2 年度に新たに約 800 点の古文書を寄贈いただきました。地域の貴重な歴史資料を各市町村の教育委員会等と連携し、保存や活用に努めています。

2 熊本の文化を発信する取組の充実

(1) くまもと文学・歴史館との連携による情報の発信

企画展

展 示 会 名	期 間	内 容
『新青年』創刊100年 編集長・乾信一郎と横溝正史	7月17日(金) ～9月22日(火) 会場：展示室 1	没後20年を迎える乾信一郎氏より寄贈された資料による展示会。横溝正史の書簡を展示。
絵図が語るくまもと —熊本県立図書館 絵図コレクションから—	10月 8日(木) ～11月30日(月) 会場：展示室 1・2	県立図書館所蔵の肥後国、熊本府、熊本城、城下、河川などの熊本藩絵図を紹介・展示
海と空のあいだに —石牟礼道子の文学世界—	1月21日(木) ～3月 8日(月) 会場：展示室 1	2018年に亡くなった作家・石牟礼道子について、その業績を直筆資料とともに展示。

収蔵品展

展示室 1 を会場に、所蔵資料を中心にした展示会を開催。

- アーカイブズに見るくまもと15 5月14日(木)～7月5日(日)
「肥後のブランド 安永露子の短歌を味わう」
- アーカイブズに見るくまもと16 12月23日(水)～1月10日(日)
3月19日(金)～5月5日(水)
「くまもと教育の夜明け 球磨の“鮎”の遊び—生誕100年上村占魚」

(2) 多様な方法を駆使した情報の発信

ギャラリー展示

展 示 会 名	期 間	内 容
100年前の熊本ブランド 『熊本県産業写真帖』より	5月14日(木)～ 7月4日(土)	アーカイブズ15 関連展示
32氏熊本ゆかりの近代文学者	7月5日(日)～ 3月31日(水)	当館が所蔵対象とする熊本ゆかりの近代文学者紹介パネル展

4 熊本の未来を創造する

1 熊本の次世代を担う子どもの育成に向けた取組の充実

(1) 子ども図書室の取組の充実

① 肥後っ子いきいき読書プランに沿った事業の展開

ア こどもの読書週間

こどもの読書週間「4月23日～5月12日」には「ながーく愛されている絵本」の展示を行いました

イ 第59回熊本県童話発表大会の開催

開催日時	場所	参加者	観覧者
R2(2020)10月 10:00～15:30	嘉島町民会館	中止	

※ 地方大会 開催地区：荒尾市

ウ たのしい絵本展

期 間：令和2年（2020年）10月31日（土）～ 11月16日（月）

会 場：子ども図書室 おはなしの部屋（期間中の入室者：1401人）

テーマ：「みんなのだいじなからだ」

内 容：「みんなのだいじなからだ」というテーマで、新型コロナウイルス感染症の発生により、健康や病気への関心が高まっている今、子どもたちが興味関心を持つ絵本等を集め展示を行った。

セット貸出：展示期間終了後、希望する市町村立図書館、学校図書館等へセット貸出を行います。

エ おはなし会の開催

定期おはなし会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休会

おはなし会の名称	開催日時（毎月）	回数	参加者数
赤ちゃんのおはなし会	第1・3水曜日 (11:00～11:30)	休会	—
おはなしの時間	第2・4・5水曜日 (16:00～16:30)	休会	—
土曜おはなし会	第1・3土曜日 (14:00～14:40)	休会	—

内容：絵本の読み聞かせ、わらべうた、指あそび、紙芝居、パネルシアター等

特別おはなし会

おはなし会の名称	開催日時	参加者数
平和を語りつぐおはなし会	休会	—
こわーいおはなし会	休会	—
クリスマス特別おはなし会	休会	—
絵本展特別おはなし会	休会	—

(2) 学校や家庭、地域との連携

① 指導者養成講座（肥後っ子いきいき読書環境づくり事業）の開催

開催日・テーマ	対象	内 容	参加者数	会 場
第1回講座 R3.3.1（月） 13:00～15:00	公共図書館、幼稚園、保育園職員、子育て支援センター職員、おはなしボランティア、文庫関係者等	講師：高野和佳子氏 「子どものこころを育てるいのちあることば ～絵本や昔話がもたらすもの～」	50人	県立図書館 大研修室 （3階）
第2回講座		※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—	県立図書館 大研修室 （3階）

② 指導主事の派遣

「読書の大切さや、読書でどんな力が付くのか」についての講義の依頼を受け、当館指導主事が講演を行いました。

開催日・タイトル	内 容	参加者数	場 所
R2.10.3（土） 13：00～15:30 第1回 熊本県読書応援ボランティア養成講座	『コロナ禍でもできる！』読書活動の工夫 ① コロナ禍での読書活動の変化 ② 読書のチカラ ～これからの社会が求めていること～ ③ 読書活動の工夫 ～読書でチカラをつけよう！～	35人	くまもと森都心プラザ 6階会議室
R2.11.28（土） 11：00～12:30 天草市子どもの読書活動推進研修会	「読書でチカラをつけるには！ ～コロナ禍で気づいたこと～」 ① コロナ禍から見えてきたもの ～変化したこと・変わらないこと～ ② 読書のチカラ ～これからの社会が求めていること～ ③ 読書活動の工夫 ～読書でチカラをつける！～	15人	複合施設 こころす
R2.11.28（土） 14：00～15:30 天草市読み聞かせボランティア交流会	「コロナ禍での読み聞かせ活動の工夫」 ① コロナ禍での読書活動の変化 ② 読書のチカラ ～これからの社会が求めていること～ ③ 読み聞かせ活動の工夫 ～チカラをつけるために！～	24人	複合施設 こころす

2 図書館の充実と発展に寄与するための取組の充実

(1) 図書館職員等の研修の充実

① 職場内研修の実施

月1回の館内整理日を利用して実施しました。

開催日	研修内容
R2(2020) 4.3(金)	※新任者向け研修 「職員サービス説明」、「カウンター業務研修」 講師：県立図書館職員
R2(2020) 5.29(金)	「サービスについて」「各階カウンターの状況について」 「IPMについて」 講師・県立図書館職員
R2(2020) 6.26(金)	「接遇、電話対応について」「著作権について」 ※資料配布で対応
R2(2020) 7.31(金)	「会計（収入）について」「会計（支出）について」 ※資料配布で対応
R2(2020) 10.30(金)	「飲酒運転根絶について」「人権問題研修」 講師：県立図書館職員
R3(2020) 1.29(金)	「年度末支出の注意点について」「アンケート結果について」 講師：県立図書館職員

② 館外で行われる研修への参加

他館、他県で実施される研修会、講習会への職員派遣を行いました。

開催日	研修講座（参加者）
R2(2020) 11.17(火) ～19(木)	○文部科学省委託事業「読書バリアフリーに向けた図書館サービス研修」 障害者サービス初級講座「すべての図書館に行ってほしい障害者サービスの実際」（1人） 主催：公益社団法人 日本図書館協会 会場：熊本県立図書館（※Web方式）
R2(2020) 12.4(金)	○第16回レファレンス協同データベース事業担当者研修会（1人） 主催：国立国会図書館 会場：熊本県立図書館（※Web方式）
R3(2021) 2.1(月) ～3(水)	○図書館地区別研修（九州・沖縄地区） 1日目（10人）2日目（5人）3日目（11人） 主催：文部科学省 長崎県教育委員会 会場：熊本県立図書館（※Web方式）

③ 図書館関係職員研修会の開催

研修会名	開催日	内 容	参加者	会場
図書館関係職員研修会 （「初任者」研修会） （熊本県図書館連絡協議 会事業） 対象：市町村立図書館（公 民館図書室を含む）教育委員 会、学校図書館、大学図書 館職員等		※新型コロナウイルス感染症拡大防 止のため中止		
図書館関係職員等全体研 修会 （熊本県図書館活動振興 協議会事業） 対象：市町村立図書館（公 民館図書室を含む） 教育委員会職員等		※新型コロナウイルス感染症拡大防 止のため中止		
地区別図書館関係職員等 研修会 （熊本県図書館活動振興 協議会事業） 対象：市町村立図書館（公 民館図書室を含む） 教育委員会職員等		※新型コロナウイルス感染症拡大防 止のため中止		
学校司書実践研修（県立教 育センター） 対象：（学校図書館司書経 験年数3年以下）		※新型コロナウイルス感染症拡大防 止のため中止		
肥後っ子いきいき読書環 境づくり事業（指導者養成 講座） 対象：市町村立図書館（公 民館図書室を含む）学校図 書館職員等、幼稚園・保育 園職員等	R3(202 1) 3.1(月)	第1回講座 講師：高野和佳子氏 「子どものこころを育てるいのちあ ることば ～絵本や昔話をもたらす もの～」 講話1：子どもたちへ届けたい絵本 や詩について 講話2：読み語りのスキルアップ	50人	県立図 書館 大研修 室
図書館関係職員研修会 （「中・上級者」研修会） （熊本県図書館連絡協議 会事業） 対象：市町村立図書館（公 民館図書室を含む）教育委員 会、学校図書館、大学図書 館職員等		新型コロナウイルス感染拡大防止の ため中止		

(2) 市町村、学校その他の機関との連絡体制作りの構築

県内公共図書館長会議 R2(2020) 11.20

3 くまもと文学・歴史館関係

1 文学・歴史館資料の整備充実

(1) 展示資料・図書購入

①資料購入検討委員会の開催

②くまもと文学・歴史館資料収集のあり方についての検討

(2) 寄贈資料の受入・整理

(3) くまもと文学・歴史館所蔵特別資料のデジタル化

2 企画展の開催

展 示 会 名	期 間	来館状況
『新青年』創刊100年 編集長・乾信一郎と横溝正史	R2(2020).7.17(金) ～9.22(火) 会場：展示室1	会期55日 来館者数2,594名 (平均47名)
絵図が語るくまもと —熊本県立図書館 絵図コレクションから—	R2(2020)10.8(木) ～11.30(月) 会場：展示室1・2	会期45日 来館者数4,182名 (平均93名)
海と空のあいだに —石牟礼道子の文学世界—	R3(2021)1.21(木) ～3.8(月) 会場：展示室1	会期39日 来館者数4,113名 (平均105名)

3 収蔵品展の開催

アーカイブズに見るくまもと

展示室1を会場に、所蔵資料を中心とした展示会を開催しました。

展 示 会 名	期 間	来館状況
アーカイブズに見るくまもと15 肥後のブランド 安永路子の短歌を味わう	R2(2020).5.14(木) ～7.5(日)	会期44日 来館者961名 (平均22名)
アーカイブズに見るくまもと16 くまもと教育の夜明け 球磨の“鮎”の遊び —生誕100年上村占魚	①R2(2020).12.23(水) ～R3(2021)1.10(日) ②R3(2021).3.19(金) ～R3(2021)5.5(水)	①会期11日 来館者904名 (平均82名) ②会期21日 来館者1792名(平均85名) 3/31時点

4 マンガコーナーの設置

展示室3に令和2年(2020年)よりマンガコーナーを設置。

NPO法人熊本マンガミュージアムプロジェクトと連携した漫画展示。企画展ごとに入れ替えました。 ※7月までは感染防止対策のため、漫画を撤去。

企画展「編集長・乾信一郎と横溝正史」関連推理漫画 7月17日～10月7日

企画展「絵図が語るくまもと」関連地図・旅漫画 10月8日～R3年1月20日

企画展「石牟礼道子の文学世界」関連自然・環境・社会漫画

1月21日～3月18日

5 文学講座・講演会等の開催

(1) 企画展関連講演会、講座等

「絵図が語るくまもと」関連企画

企画名	期日／会場	講師	参加者数
講演会「絵図の楽しさ」	11月8日(日) 図書館大研修室	服部英雄(くまもと文学・歴史館長)	36名
ギャラリートーク	10月10日(土) 11月21日(土)	大門参事	13名 12名

「石牟礼道子の文学世界」関連企画

企画名	期日／会場	講師	参加者数
講演会「残夢童女」	3月6日(土) 図書館大研修室	渡辺京二氏(日本近代史家)	50名
ギャラリートーク	3月4日(木) 展示会場	木下参事	10名

(2) 職員の学校・社会教育施設等への出前講座

職員による講演会・講座(学校や社会教育施設等からの依頼による実施)
熊本文学講演会を県立北稜高校にて実施した。(R3.2.3(水))

(3) 校外授業等の受入

熊本県立大学との連携で、くまもと文学・歴史館についての講義、資料調査実習、教育普及をテーマにした俳句ワークショップ等を実施しました。

(4) 文学の博物館講座・実習の受入

熊本大学博物館実習生の受入 9月10日～17日 会場：当館 <3名>
実習生による成果発表として、夏目漱石展示コーナー設置しました。

6 広報活動

(1) くまもと文学・歴史館報の発行(年1回)3月31日発行

企画展報告、収蔵品展報告・講演会記録、新収蔵資料、友の会活動報告を行いました。

(2) 県立図書館ホームページへの企画展等の紹介

企画展及び関連講演会等について掲載や、ツイッターを利用した情報提供を行いました。

(3) 報道機関への情報提供

企画展及び関連講演会などについての広報課投げ込みを行いました。随時、ファックス等でも情報を提供しました。

7 調査研究事業

(1) 大学や博物館と連携しての資料調査

横溝正史・蓮田善明資料調査 11月16日～18日

場所：二松学舎大学（東京都）、三島由紀夫記念館（山梨県）

(2) 当館の収蔵品展「アーカイブズに見るくまもと」での所蔵資料の調査・研究

アーカイブズシリーズに合わせて、安永路子（生誕100年）の文学資料及び、熊本県公文類纂の西南戦争資料、相良家医術・武術資料についての調査を実施しました。

8 文化財レスキュー活動

7月4日の豪雨災害にて被災した芦北町立図書館の古文書類のレスキュー活動を実施しました。現地でのレスキュー活動の他、芦北町所蔵の明治初期の検地帳など、近代行政文書約230点を館で預かり、修復作業を実施しました。

9 くまもと文学・歴史館友の会連携事業

くまもと文学・歴史館友の会活動と連携し各種事業を開催しました。会員110名

(1) 定例事業

月案内発行	毎月1回発行	くまもと文学・歴史館の行事等を会員へ送付
文章勉強会	毎月1回開催	有志による文章講座
歴史勉強会	毎月1回開催	有志による古文書講座

(2) 講演会・講座開催事業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止

熊本地震朗読会

友の会総会記念講演会

湧水講演会 友の会会員が講師となって開催する講演会

(3) 文学・歴史探訪旅行 ※今年度は全て中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止

初夏の文学歴史探訪

秋の文学歴史散歩

新型コロナウイルス対策



臨時休館中(R2.2.28(金)~5.13(水))に、県内の皆様の貸出への希望にこたえるため、特別窓口での予約による貸出、郵送での貸出・貸出カード作成の対応を行いました。



5月14日(木)に開館し、感染拡大防止のために入館時にヘルスチェックシートの記入、体温の確認、手指消毒、マスク着用の徹底を行っています。



他にも、返却時の図書の消毒、利用後の机イスの消毒、閲覧機の距離の確保、消毒機の設置など様々な対策に取り組んでいます。

令和2年7月豪雨への支援



芦北町図書館が豪雨のため床上浸水し、約22000冊が被災しました。被害状況を確認し、被災した資料の一部を持ち帰り、修復等を行いました。



水没した資料を、部屋に広げ修復を行いました。職員同士、協力して修復作業を行いました。



芦北町地域活性化センターの1部屋をお借りして、約3000冊の蔵書を持ち込み、臨時の図書館を開きました。その後、約1500冊追加で購入しました。

熊本市との連携事業



R3年(2021年)1月より、熊本市との連携事業として、予約貸出・返却サービスが始まりました。予約された本を、本棚からピックアップして貸出します。



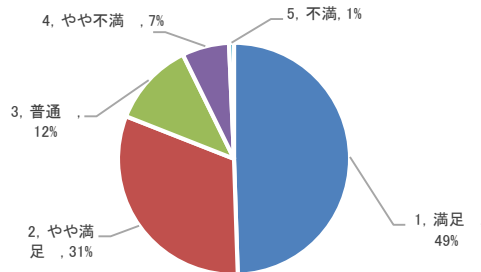
開架の本も閉架の本も貸し出すことができます。(一部を除く)
ピックアップの後は、受取館ごとに本を仕分けしています。



熊本市との配送ルートに乗り、各受取館へと配送します。熊本県立図書館の本を熊本市の図書館・公民館図書室等で返すこともできるようになりました。

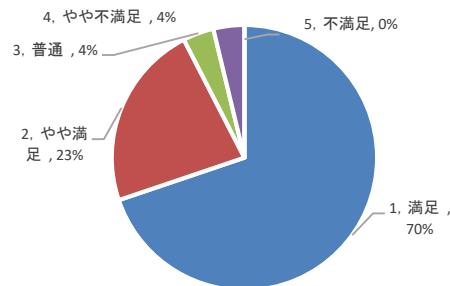
利用者アンケートから

当館の満足度について



12月から1月にかけて行った利用者アンケートでは、当館の全体的な満足度が80%を超える評価をいただきました。

レファレンス満足度



特に、レファレンスをされた方の回答に対する満足度は93%ととても高く、励みとなりました。今後も、「調べる図書館」としての役割を担っていきます。

今後、当館が力を入れるべきこと
1 幅広い分野の資料収集・提供
2 熊本に関する資料の収集・提供・保存
3 利用環境の向上
4 学びの場や学びを共有する機会の提供
5 ホームページやSNSを使った情報の発信

「当館が、今後力を入れるべきこと」には、多くの方から「幅広い分野の資料収集」というご意見をいただきました。このアンケートを参考に今後もより活用される図書館を目指していきます。

V その他資料

1 資料状況

(1) 令和2年度(2020年度) 年間受入資料点数

(表1)

		購入	寄贈・取得	計	
図書館資料	図書	一般書	5,330	2,419	7,749
		児童書	1,799	109	1,908
		洋書	28	3	31
		古文書	7	1,278	1,285
		電子図書	0	0	0
		その他	0	1	1
		計	7,164	3,810	10,974
	雑誌・新聞	官報	67	0	67
		雑誌	1,736	1,928	3,664
		新聞	117	90	207
		その他逐次刊行物	0	5	5
		計	1,920	2,023	3,943
	マイクロフィルム	新聞マイクロフィルム	24	0	24
		古文書マイクロフィルム	0	0	0
		計	24	0	24
	視聴覚資料	CD	0	23	23
		ビデオテープ	0	11	11
		DVD	0	47	47
		カセットテープ	0	0	0
		レコード	0	0	0
		その他	0	4	4
計		0	85	85	
計		9,108	5,918	15,026	
普及協力用資料	配本協力用資料	2,586	89	2,675	
	子ども文庫用資料	335	9	344	
	計	2,921	98	3,019	
熊本県立図書館計		12,029	6,016	18,045	
文学・歴史館資料	図書	260	443	703	
	雑誌	3	0	3	
	視聴覚資料	0	0	0	
	計	263	443	706	
合計		12,292	6,459	18,751 ←A	

※普及協力用資料は図書として計上

(2) 令和2年(2020年) 度 年間除籍冊数 683 冊

(3) 令和2年度(2020年度)末所蔵点数 (表2)

			計
図書館資料	図書	一般書	613,821
		児童書	93,293
		洋書	29,707
		古文書	67,585
		電子図書	0
		その他	360
		計	804,766
	雑誌・新聞	官報	3,592
		雑誌	207,645
		新聞	8,662
		その他逐次刊行物	664
		計	220,563
	マイクロフィルム	新聞マイクロフィルム	2,122
		古文書マイクロフィルム	901
		計	3,023
	視聴覚資料	CD	4,358
		ビデオテープ	1,538
		DVD	899
		カセットテープ	357
		レコード	1,164
その他		428	
計		8,744	
計			1,037,096
普及協力用資料	配本協力用資料	図書	35,011
		ビデオテープ	3
		カセットテープ	214
		CD	1
	計	35,229	
子ども文庫用資料	図書	32,109	
	雑誌	0	
計			32,109
計			67,338
熊本県立図書館計			1,104,434
文学・歴史館資料	図書	47,723	
	雑誌	4,514	
	視聴覚資料	39	
	計	52,276	
合計			1,156,710 ←B

※熊本県立図書館本館用資料の中には、視聴覚室図書資料等も含む。

▼資料更新率 (%) $[A/(B-A) * 100]$ 1.65%

(4) 開閉架図書冊数(令和2年度(2020年度)末)

(表3)

	開架資料点数 [a]	閉架資料点数 [b]	開架率(%) [a/(a+b)*100]	R02(2020) 受入点数 [c]	開架に占める新規資 料の割合 (%)
子ども図書室	29,042	73,990	28.19	1,982	6.82
第1閲覧室	95,815	367,305	20.69	5,567	5.81
第2閲覧室	31,195	207,715	13.06	3,425	10.98
合計	156,052	649,010	19.38	10,974	7.03

※開架資料：閲覧室内にある資料。

[c/a*100] ↑

※閉架資料：閉架書庫内にある資料。

※視聴覚資料、普及協力用資料、文学・歴史館資料は除く。図書のみ(雑誌・新聞は除く)。

(5) 資料費

(表4)

		令和2年度(2020年度) 予算額(千円) [d]	購入点数(点) [e]	平均単価(円) [d/e]
資料費 ①+②		33,909	12,268	2,764
図書館	図書資料費	23,938	7,164	3,341
	雑誌・新聞費	3,114	1,920	1,622
	視聴覚資料費	0	0	0
	普及協力用資料費	4,744	2,921	1,624
	熊本県立図書館計①	31,796	12,005	2,649
くまもと文学・歴史館②		2,113	263	8,034
県民1人あたりの資料購入費		19.57 円		

[資料費/人口](円) ※令和3年(2021年)3月1日現在人口 (1,732,644 人)

参考① 雑誌・新聞の所蔵タイトル数

(表5)

	購入	寄贈・取得	合計	うち外国語
雑誌	124	364	488	3
新聞	11	23	34	0

参考② その他の資料点数

(表6)

	点数
古文書複製物	15,609
くまもと文学・歴史館特別資料	9,765

参考③ 文庫数 6文庫

(荒本文庫、内田文庫、耕治人文庫、松本文庫、山崎文庫、野口文庫)

文庫名	寄贈者 (文庫名の由来者)	内 容 等	資料数
荒本文庫	荒木 精之	<input type="checkbox"/> 寄贈者の経歴等 ・文化運動家、小説家、思想家、歴史家 ・熊本県文化協会の設立に尽力 ・雑誌「日本談義」創刊、編集者 <input type="checkbox"/> 寄贈資料について ・日本歴史関係、日本文学関係の図書、雑誌、新聞スクラップなど。 ・膨大な量の雑誌コレクションが特色	21,261
内田文庫	内田 守 (歌人 内田 守人)	<input type="checkbox"/> 寄贈者の経歴等 ・ハンセン病療養所菊池恵楓園の医官 ・患者の治療とともに歌人として短歌を指導 <input type="checkbox"/> 寄贈資料について ・医学関係、詩歌、文芸誌など	9,501
耕治人文庫	耕 治人	<input type="checkbox"/> 寄贈者の経歴等 ・詩人、小説家 ・「平林たい子文学賞」・「読売文学賞」を受賞 <input type="checkbox"/> 寄贈資料について ・文学関係の図書、原稿、遺品など	4,738
松本文庫	松本 唯一	<input type="checkbox"/> 寄贈者の経歴等 ・熊本大学の初代理学部長 ・地質学者 <input type="checkbox"/> 寄贈資料について ・和漢書、洋書、雑誌、教科書等 ・専門分野である地質関係の図書、地図が多数	14,930
山崎文庫	山崎 正董	<input type="checkbox"/> 寄贈者の経歴等 ・医師 ・県立熊本病院婦産科部長、熊本医大学長等を歴任 <input type="checkbox"/> 寄贈資料について ・戦災後の熊本県立図書館の再興時における主要な資料群のひとつ ・山崎氏の戦前の沖縄旅行時の写真は沖縄県の貴重な資料であり、沖縄県各自治体の利用多数 ・雑誌の創刊号のコレクションが特色	8,473
野口文庫	野口 彰	<input type="checkbox"/> 寄贈者の経歴等 ・大分大学教授、熊本大学理学部長等を歴任 ・熊本大学名誉教授 <input type="checkbox"/> 寄贈資料について ・植物学の国内及び国外の専門書等	1,232

参考④ 古文書

1. 古文書

名称	内容等	資料数
肥後国検地諸帳	肥後国検地諸帳は加藤家と熊本藩が作成した土地基本台帳です。加藤清正による天正17年(1589)の検地帳、徳川家康に提出された「御前帳」の慶長9年(1604)の検地帳の写し、清正による慶長10-13年の検地帳、入封後の細川忠利による寛永10-20年(1633-1643)の地撫帳、6代藩主重賢による宝暦5-天明元年(1755-1781)の下ケ名寄帳、7代藩主治年による天明5-8年(1785-1788)の地引合見図帳、10代藩主斉護による天保7-13年(1836-1842)の再地引合下ケ名帳などが現存しています。	約4,000点
相良文書	相良文書は昭和33年(1958)に相良家37代当主の相良頼綱氏から県立図書館に譲渡された人吉藩と藩主家の相良氏に係る古文書群です。昭和3~9(1928~1934)年に頼綱氏の指示で旧人吉藩士家の雨森眞・渋谷季五郎氏が編纂した『相良家史料』と共に保管されています。	約2,000点
熊本県公文類纂	熊本県公文類纂は熊本藩から移管された「旧藩関係記録」「機密間日記」「古転切支丹記録」や、明治5年(1872)に白川県が作成した士族関係・職制に関する行政文書、明治5~18年に編纂された郡誌・村誌、明治6年~昭和12年(1937)の熊本県(明治9年まで白川県)が作成した県政全般の行政文書と公記録類です。神風連、西南役など、項目毎に全57項目に整理されています。	約2,500点
熊本藩絵図	熊本藩は土地を把握するために行政文書として各種の絵図を作成していました。分類の内訳では、肥後国全体を描く「肥後国の絵図」、熊本城下全体を描く「熊本府の絵図」、熊本城を描く「熊本城の絵図」、城下各町を描く「城下の絵図」、熊本府外の武家屋敷や郡・手永を対象にした「各郡の絵図」、肥後国以外の「他国の絵図」、白川等の6河川を描く「河川の絵図」があります。	約360点
明治前期地図	明治前期地図は熊本県公文類纂に付属する図です。明治5~18年(1872~1885)に編纂された郡誌・村誌に付属する郡図・村図、西南戦争に係る西南役関係地図、県が道路・堤防・河川・海岸を管理するために作成した実測図等があります。球磨郡の地誌の付図に当たる球磨古城図を含めて1,420点が保管されています。昭和22年に熊本県公文類纂と共に熊本県から移管されました。	約1,400点

2. 永青文庫

(1) 「先祖附」(せんぞづけ)：複製

- ・熊本大学附属図書館に寄託されている永青文庫のうちの複写版
- ・熊本藩士の来歴を、氏名の「いろは順」に書き出したもの
- ・熊本藩士の戸籍にあたり、研究者たちにとって貴重な資料のひとつ
- ・家系を調べるのに必要な史料

(2) 「町在」(まちざい)：複製

- ・熊本大学附属図書館に寄託されている永青文庫のうちの複写版
- ・江戸時代の士農工商のうち、士を除く豪農や庄屋、職人等の事跡等について書かれた記録

(3) 漢籍(永青文庫蔵本)

- ・熊本藩ゆかりの漢籍

2 利用状況

(1) 開館日数及び入館者数

(表7)

	熊本県立図書館				くまもと文学・歴史館			
	H30年度 (2018年度)	R1年度 (2019年度)	R2年度 (2020年度)	対前年比	H30年度 (2018年度)	R1年度 (2019年度)	R2年度 (2020年度)	対前年比
開館日数(日)	291	262	251	0.96	291	262	251	0.96
入館者数(人)	236,940	208,671	105,666	0.51	46,969	33,701	17,049	0.51
一日平均	814	796	421		161	129	68	

(2) 館外利用証登録者数(令和2年度(2020年度)末)

(表8)

	合計
新規登録者数	2,307
有効登録者数	192,623
累計登録者数	196,786

(3) 貸出冊数(年間)

(表9)

個人貸出	貸出冊数
子ども図書室	71,240
第1閲覧室	70,659
第2閲覧室	3,759
縣市連携(1月-3月)	722
合計	146,380

(表10)

普及協力用資料		貸出冊数	団体数
配本協力		9,750	40
団体貸出	一括貸出	6,301	7
	子ども文庫	3,549	14
	計	9,850	21
合計		19,600	61

(4) 視聴覚資料の利用件数342件(年間)1.36件(一日平均)

※一日平均は臨時休館を含まない開館日数(251日)で算出

(5) レファレンス件数

(表11)

閲覧室別	件数	
	年間	一日平均
子ども図書室	2,465	9
第1閲覧室	5,841	20
第2閲覧室	2,861	10
視聴覚室	26	0
合計	11,193	39

(表12)

形態別	件数	
	年間	一日平均
口頭	7,894	28
電話	2,567	9
文書	178	1
メール	554	2
合計	11,193	39

※一日平均は臨時休館中を含む実際の開館日数(286日)で算出

286

(6) 相互貸借利用件数及び冊数 (年間)

(表 1 3)

		貸出	構成比 (%)	借受	構成比 (%)	
県外の公共図書館等	件数	94	23.3	86	82.7	
	冊数	125	9.4	171	87.7	
県内	市町村立図書館	件数	213	52.7	18	17.3
		冊数	431	32.3	24	12.3
	公民館図書室	件数	6	1.5	0	0.0
		冊数	12	0.9	0	0.0
	学校	件数	91	22.5	0	0.0
		冊数	765	57.4	0	0.0
	その他	件数	0	0.0	0	0.0
		冊数	0	0.0	0	0.0
	計	件数	310		18	
		冊数	1,208		24	
	合計	件数	404	100.0	104	100.0
		冊数	1,333	100.0	195	100.0

(7) 資料の複写件数 (年間)

(表 1 4)

利用件数		3,145
複写枚数		47,987
内 訳	白黒	43,348
	カラー	637
	マイクロ	4,002

(8) 特別資料貸出冊数 (年間)

(表 1 5)

① 「楽しい絵本展」展示資料	960
② おはなし会支援特別資料	975
合計	1,935

参考① 月別入館者及び館外貸出の状況

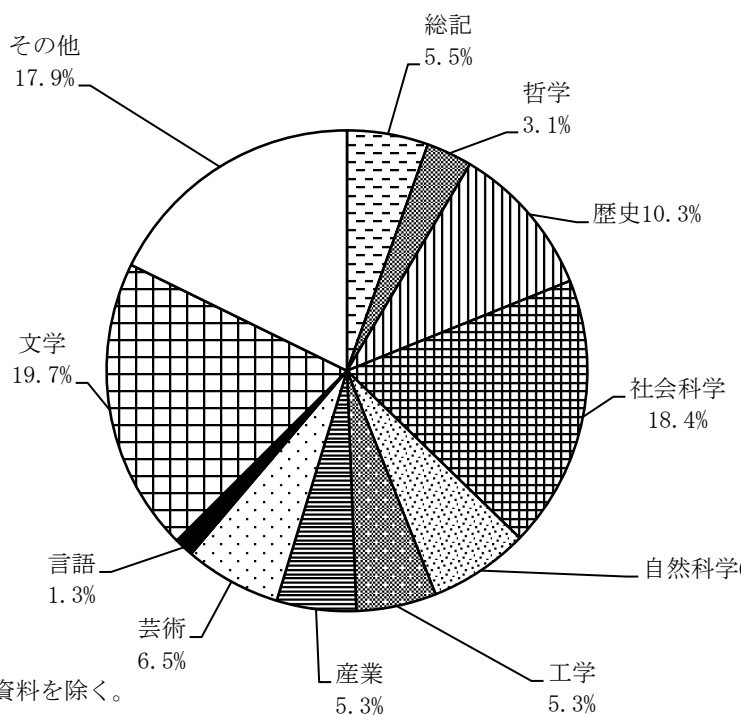
(表 1 6)

	熊本県立図書館					くまもと文学・歴史館		
	開館日数	入館者数	一日平均入館者数	貸出冊数	一日平均貸出冊数	開館日数	入館者数	一日平均入館者数
R02(2020) 4月	0	0		7,193		0	0	
5月	15	7,143	476	13,827	922	15	284	19
6月	24	8,966	374	11,075	461	24	546	23
7月	26	9,502	365	12,248	471	26	698	27
8月	25	11,116	445	14,509	580	25	873	35
9月	23	9,830	427	11,386	495	23	1,737	76
10月	26	11,129	428	13,094	504	26	2,364	91
11月	25	11,519	461	13,078	523	25	2,328	93
12月	16	6,340	396	10,338	646	16	1,185	74
R03(2021) 1月	23	9,270	403	13,498	587	23	2,103	91
2月	23	10,292	447	13,067	568	23	2,307	100
3月	25	10,559	422	13,067	523	25	2,624	105
合計	251	105,666	421	146,380	583	251	17,049	68

参考② 所蔵資料分類別構成 (表 1 7)

	R2年度 (2021年度)末 所蔵冊数
総記	47,914
哲学	27,058
歴史	90,851
社会科学	160,850
自然科学	59,229
工学	47,272
産業	46,891
芸術	57,021
言語	11,368
文学	173,140
その他	155,619
図書計	877,213
雑誌	212,159
合計	1,089,372

所蔵図書分類別構成比

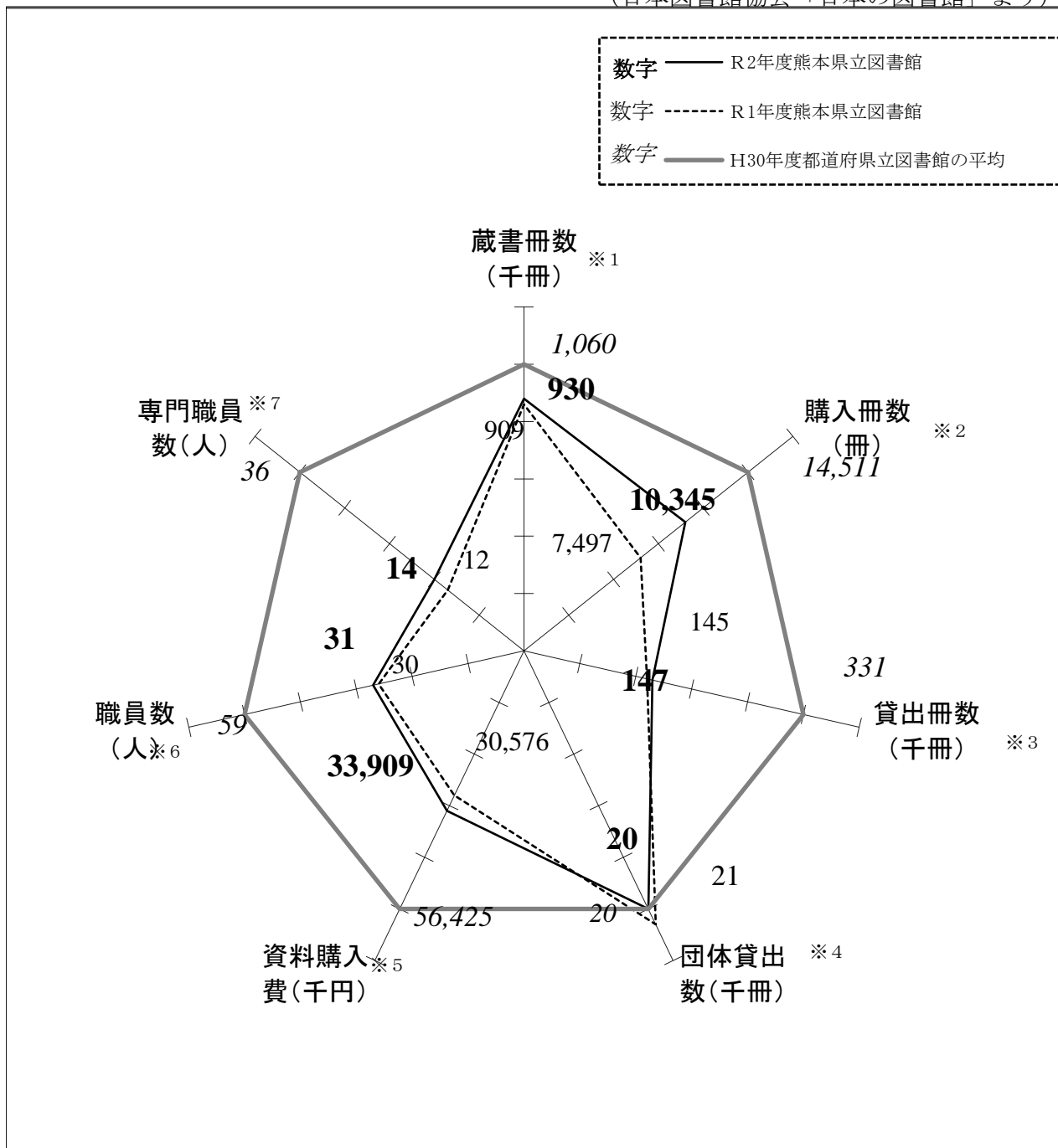


※NDC：日本十進分類法

※くまもと文学・歴史館資料を含み、普及協力用資料を除く。

参考③ 全国から見た熊本県立図書館のすがた

(日本図書館協会「日本の図書館」より)



- ※1 蔵書冊数：熊本県立図書館の図書の冊数（雑誌・新聞を除く。くまもと文学・歴史館を含む。）。
- ※2 購入冊数：熊本県立図書館の図書の購入冊数（雑誌・新聞を除く。くまもと文学・歴史館を含む。）。
- ※3 貸出冊数：熊本県立図書館の個人貸出冊数。
- ※4 団体貸出冊数：配本協力、一括貸出及び子ども文庫の貸出冊数。
- ※5 資料購入費：熊本県立図書館の資料購入費（くまもと文学・歴史館を含む。）。
- ※6 職員数：正職員の職員数。
- ※7 専門職員数：正職員のうち司書及び、司書補の有資格者数。

3 10年のあゆみ

(1) 資料受入状況の推移

(表18)

	購入予算 (千円)	購入点数 (点)	平均単価 (円)	寄贈・取得 点数(点)	受入点数 (点)	除籍点数 (点)	その他調 整(点)	所蔵点数 (点)
平成23年度	31,575	12,046	2,621	10,822	22,868	0	0	962,071
平成24年度	31,400	12,591	2,494	8,268	20,859	0	22,530	1,005,460
平成25年度	29,972	10,792	2,516	12,375	23,167	0	0	1,028,627
平成26年度	29,085	11,310	2,572	11,555	22,865	1,264	224	1,050,452
平成27年度	27,346	10,744	2,545	10,148	20,892	4,585	0	1,066,759
平成28年度	27,134	9,081	2,988	12,540	21,621	1	2,118	1,090,497
平成29年度	21,479	7,587	2,831	8,364	15,951	318	-2,663	1,103,467
平成30年度	27,076	9,228	2,934	9,433	18,661	0	0	1,122,128
令和元年度	30,576	9,423	3,245	9,683	19,106	2,592	0	1,138,642
令和2年度	33,909	12,292	2,759	6,459	18,751	683	0	1,156,710

※その他調整：視聴覚資料の取扱の統一及び在庫資料の追加登録等によるもの。

(2) 開館日数、入館者数、新規館外利用証登録者数の推移

(表19)

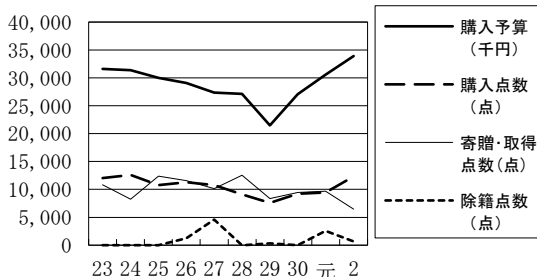
	熊本県立図書館				熊本近代文学館(～H28.1.27) くまもと文学・歴史館(H28.1.28～)			総入館者数
	開館日数	入館者数	一日平均	新規館外利用 証登録者数	開館日数	入館者数	一日平均	
平成23年度	284	298,685	1,052	3,857	284	32,707	115	331,392
平成24年度	290	285,844	986	3,836	290	42,809	148	328,653
平成25年度	289	274,595	950	3,530	289	31,274	108	305,869
平成26年度	265	100,161	378	1,672	76	8,120	107	108,281
平成27年度	290	220,961	762	3,009	53	8,278	156	229,239
平成28年度	258	100,434	389	1,156	258	27,689	107	128,123
平成29年度	276	207,491	752	2,547	276	31,193	113	238,684
平成30年度	291	236,940	814	2,360	291	46,969	161	283,909
令和元年度	262	208,671	796	2,099	262	33,701	129	242,372
令和2年度	251	105,666	421	2,307	251	17,049	68	122,715

※図書館は、H26.7～H27.3月まで改修工事により部分開館。熊本近代文学館は、H26.7～H28.1月までリニューアル工事のため休館。平成28年度は、熊本地震により1階のみの部分開館(H28.6～H29.3)

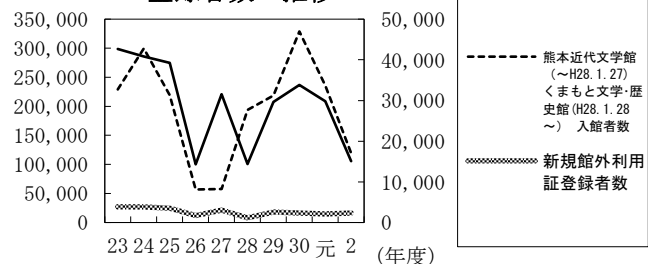
※令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月28日～3月31日まで臨時休館。臨時休館中のサービスとして、3月20日より予約貸出を開始。

※令和2年度5月に時間短縮(9:30～15:30)のうえ開館。9月に開館時間延長(9:30～17:00)。令和3年1月に熊本市とのインターネット予約貸出サービス開始。

資料受入状況



入館者数及び新規館外利用証登録者数の推移



(3) 利用状況の推移

(表 2 0)

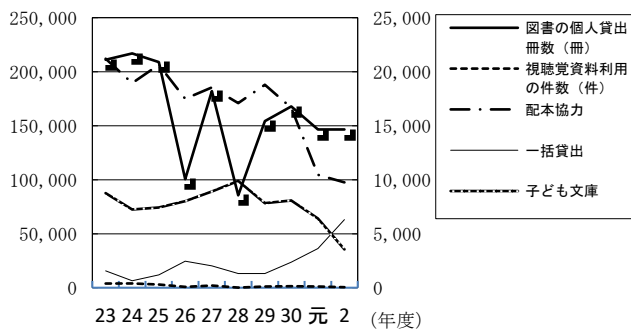
	図書の個人貸出冊数 (冊)	視聴覚資料利用の件数 (件)	普及協力用資料の貸出点数 (点)			
			配本協力	一括貸出	子ども文庫	計
平成 2 3 年度	211,185	3,694	21,200	1,567	8,740	35,201
平成 2 4 年度	216,893	3,925	18,950	640	7,244	30,759
平成 2 5 年度	208,747	2,836	20,650	1,183	7,426	32,095
平成 2 6 年度	100,427	794	17,500	2,457	8,010	28,761
平成 2 7 年度	181,930	1,862	18,550	2,017	8,921	31,350
平成 2 8 年度	85,517	90	17,100	1,321	9,881	28,392
平成 2 9 年度	154,199	1,072	18,800	1,320	7,813	27,933
平成 3 0 年度	167,808	1,269	16,650	2,353	8,084	27,087
令和元年度	146,424	988	10,450	3,632	6,405	20,487
令和 2 年度	146,380	342	9,750	6,301	3,549	19,600

(4) レファレンス件数の推移

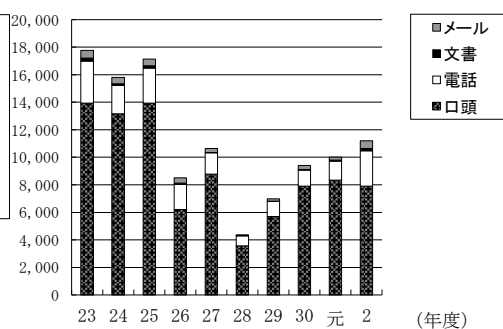
(表 2 1)

	口頭	電話	文書	メール	合計
平成 2 3 年度	13,945	3,041	222	558	17,766
平成 2 4 年度	13,170	2,058	105	472	15,805
平成 2 5 年度	13,939	2,536	178	478	17,131
平成 2 6 年度	6,207	1,808	105	402	8,522
平成 2 7 年度	8,766	1,569	19	281	10,635
平成 2 8 年度	3,572	734	8	60	4,374
平成 2 9 年度	5,690	1,089	28	185	6,992
平成 3 0 年度	7,896	1,171	54	288	9,409
令和元年度	8,350	1,362	94	207	10,013
令和 2 年度	7,894	2,567	178	554	11,193

利用状況の推移



レファレンス件数の推移



(5) 相互貸借の推移 (冊数)

(表 2 2)

(貸出)

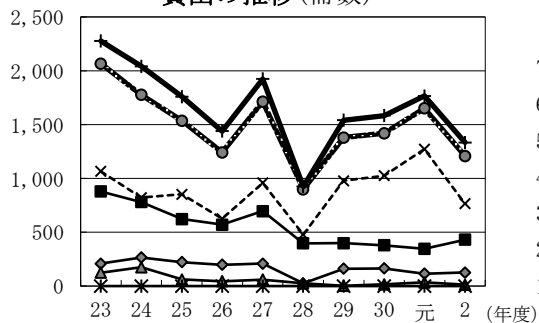
年度	県外	県内					合計
		公共図書館	市町村教育委員会	学校	その他	計	
平成 2 3 年度	209	878	124	1,065	0	2,067	2,276
平成 2 4 年度	265	780	175	822	0	1,777	2,042
平成 2 5 年度	223	623	61	852	0	1,536	1,759
平成 2 6 年度	198	571	44	626	0	1,241	1,439
平成 2 7 年度	209	696	60	958	0	1,714	1,923
平成 2 8 年度	25	397	24	478	0	899	924
平成 2 9 年度	161	399	2	978	0	1,379	1,540
平成 3 0 年度	164	378	16	1,025	0	1,419	1,583
令和元年度	115	346	33	1,272	0	1,651	1,766
令和 2 年度	125	431	12	765	0	1,208	1,333

(借受)

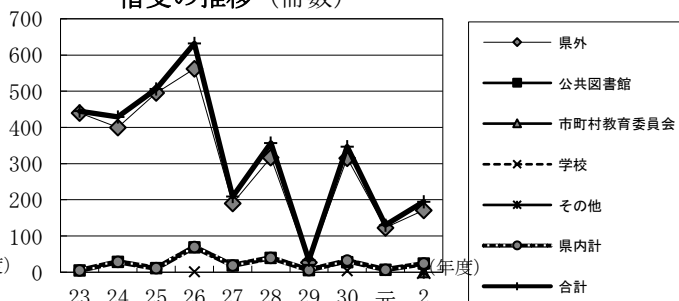
(表 2 3)

年度	県外	県内					合計
		公共図書館	市町村教育委員会	学校	その他	計	
平成 2 3 年度	400	29				29	429
平成 2 4 年度	495	11				11	506
平成 2 5 年度	562	69		1		70	632
平成 2 6 年度	190	19				19	209
平成 2 7 年度	317	40				40	357
平成 2 8 年度	27	6				6	33
平成 2 9 年度	315	28		4		32	347
平成 3 0 年度	325	17				17	342
令和元年度	123	7				7	130
令和 2 年度	171	24	0	0	0	24	195

貸出の推移(冊数)



借受の推移(冊数)

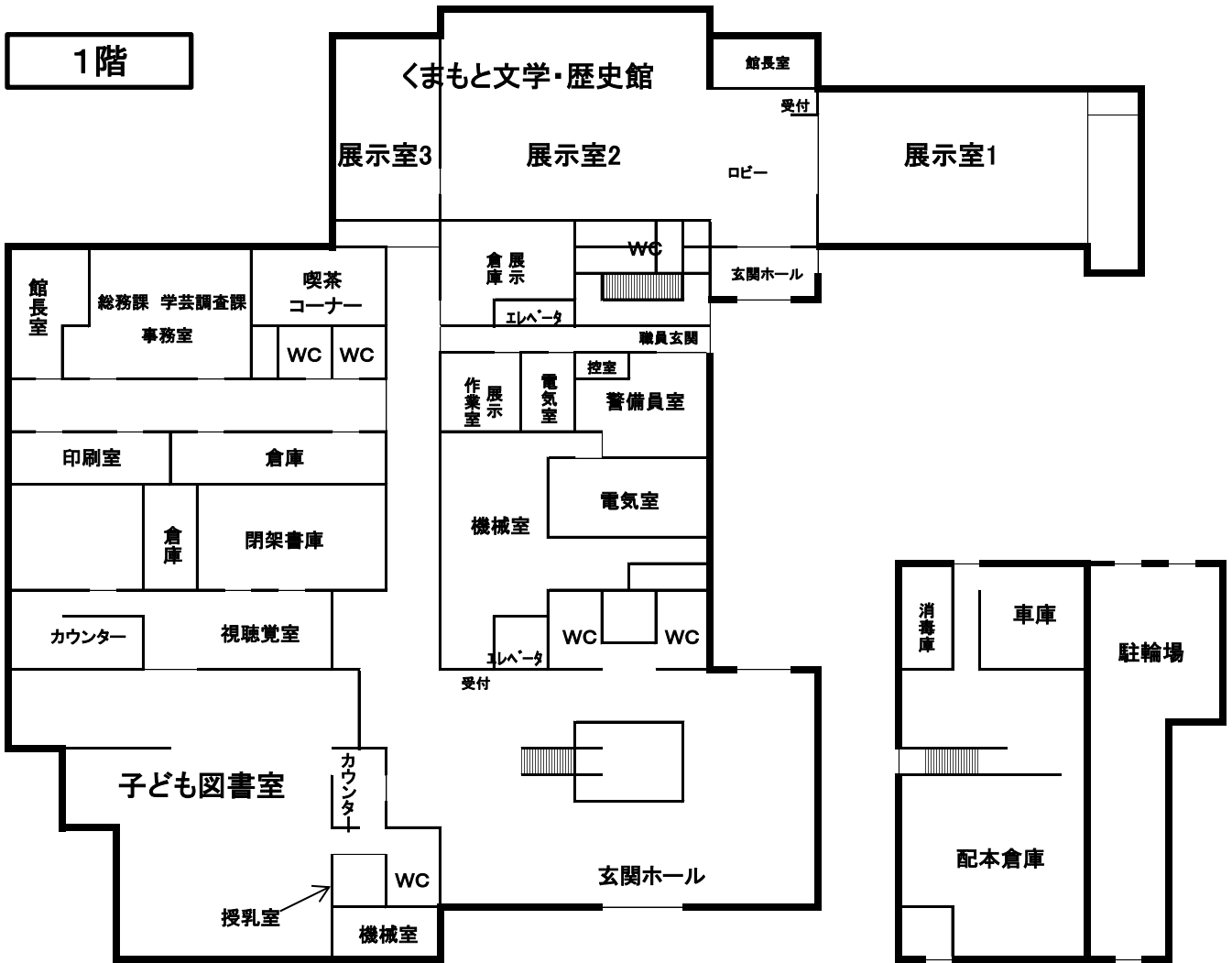


4 施設の概要

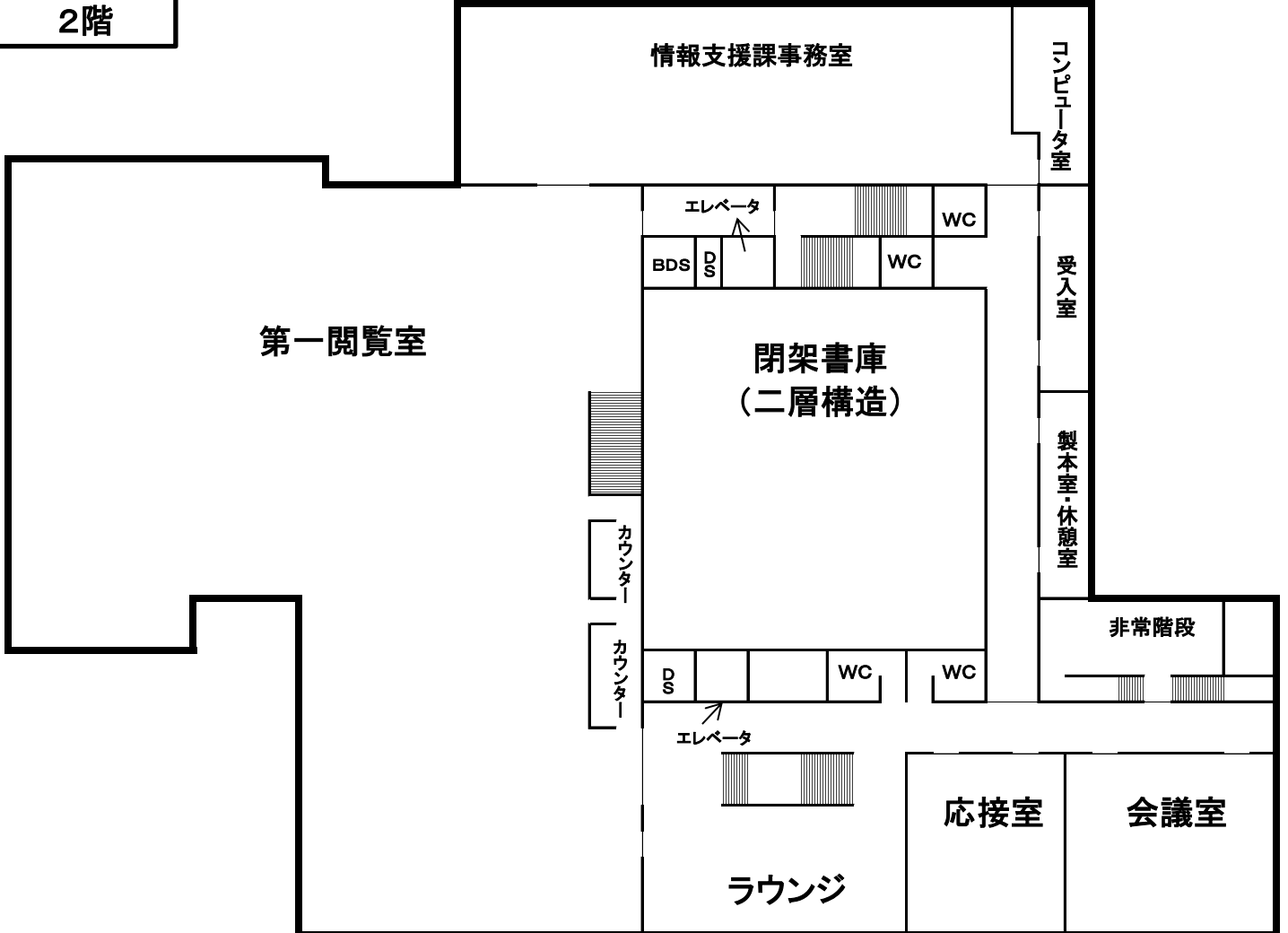
(単位:㎡)

階 床面積	閲覧部門	集会部門	視聴覚室	資料保存部門	管理部門	その他	くまもと文学・ 歴史館
1 階 3360.63	子ども 図書室 361.48		視聴覚室 151.35	配本書庫 224.24 閉架書庫 113.60	館長室 43.74 事務室 105.04 展示作業室 19.44 警備員室 43.54 清掃員室 6.40 印刷室 33.99 救護室 消毒室 15.00 倉庫 46.86 " 29.60	玄関 ホール 250.04 喫茶 コーナー 36.72 展示倉庫 56.88 機械室 (1,2) 176.80 電気室 (1,2) 129.28 配本車庫 111.78 駐輪場 207.03 廊下,便所 その他 497.54	展示室 658.66 玄関 ホール 41.62
2 階 2,825.56	第 1 閲覧室 1,165.26	会議室 138.01		書庫 (2層) 532.22	応接室 92.44 事務室 244.17 コンピ ュー タ 室 55.08 受入室 47.52 製本室・ 休憩室 48.24	ラウンジ 101.25 廊下,便所 その他 401.37	
3 階 2,203.95	第 2 閲覧室 717.92	大研修室 195.97 映写室 34.48 小研修室 81.00		書庫 (2層) 503.74 貴重書庫 (2層) 114.83	事務室 81.96	ラウンジ 103.50 廊下,便所 その他 370.55	
4 階 1,048.58				書庫 (集密) 482.73 特別 収蔵庫 174.99		機械室 (1,2,3) 306.03 廊下 その他 84.83	
屋 階 23.76						機械室 23.76	
計 9,462.48	2,244.66	449.46	151.35	2,146.35	913.02	2,857.36	700.28

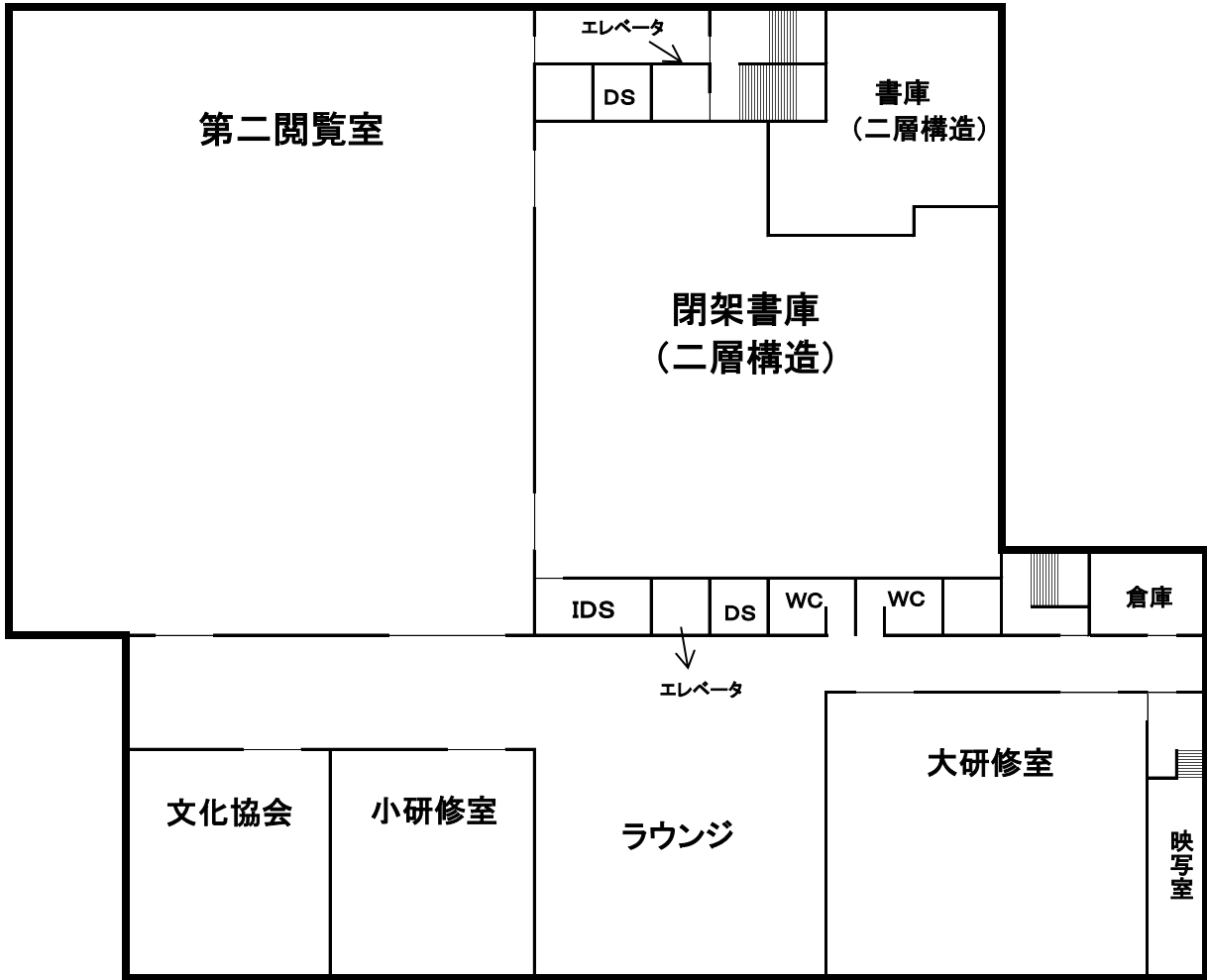
1階



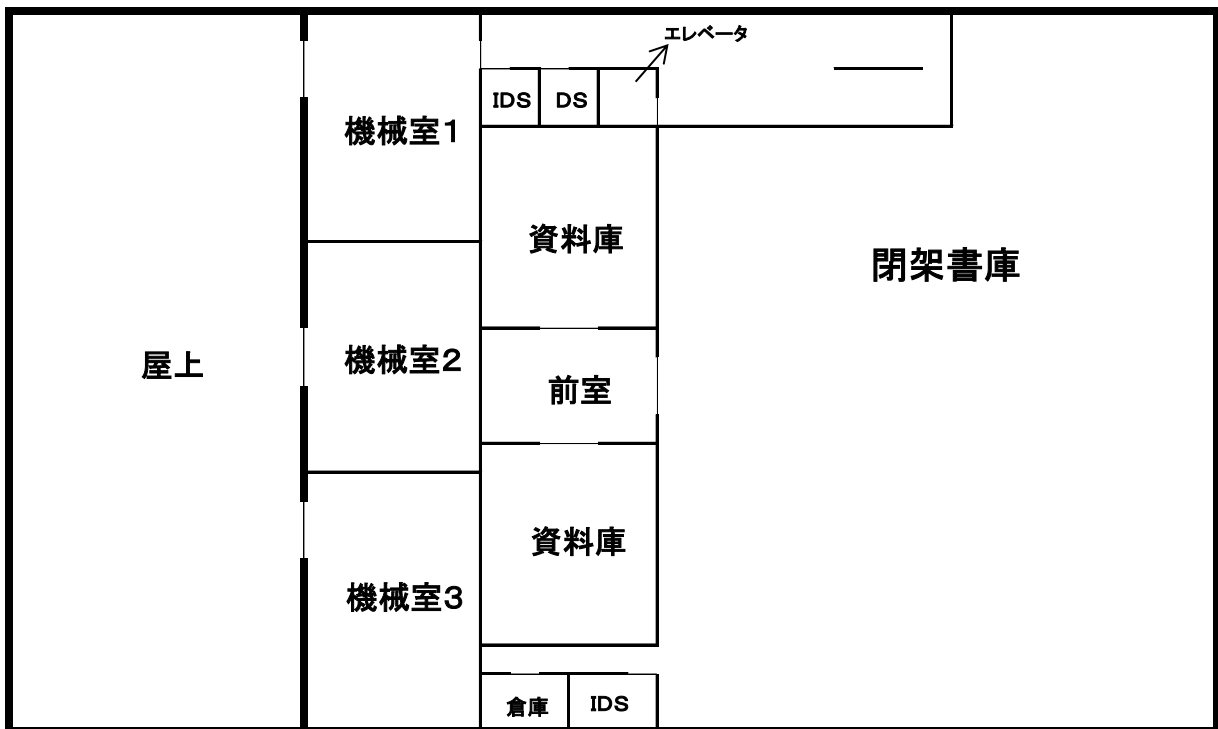
2階



3階



4階



5 熊本県立図書館利用規則

(昭和60年10月8日教育委員会規則第17号)
最終改正 平成28年1月12日教育委員会規則第2号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、熊本県立図書館設置条例(昭和26年熊本県条例第60号)第4条の規定に基づき、熊本県立図書館(以下「図書館」という。)及びくまもと文学・歴史館(以下「文学・歴史館」という。)の利用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(休館日等)

第2条 図書館及び文学・歴史館(以下「館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- 一 火曜日(火曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「祝日法による休日」という。)に当たるときは、その翌日)
- 二 館内整理日(毎月最終金曜日)
- 三 特別整理期間(年間14日以内)
- 四 年末年始(12月28日から翌年1月3日まで)

2 館長(図書館長をいう。以下同じ。)は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認めるときは、臨時に休館又は開館することができる。

(開館時間)

第3条 図書館(子ども図書室及び視聴覚室を除く。)の開館時間は、午前9時30分から午後7時(土曜日、日曜日及び祝日法による休日にあつては、午後5時15分)までとする。

2 子ども図書室、視聴覚室及び文学・歴史館の開館時間は、午前9時30分から午後5時15分までとする。

3 館長は、前二項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(入館制限)

第4条 館長は、次の各号の一に該当する者に対し、入館を禁じ、又は退館させることができる。

- 一 館の秩序を乱すおそれがあると認められる者
- 二 この規則及び係員の指示に従わない者
- 三 その他管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第5条 自己の責めに帰すべき理由により、施設、設備、資料(図書館資料及び文学・

歴史館資料をいう。以下同じ。)を滅失又は損傷した者は、館長の指示に従い、これを修理し、又は損害を賠償しなければならない。

第2章 館内利用

(館内閲覧等)

第6条 館内において資料の閲覧等をしようとする者(以下「館内利用者」という。)は、係員の指示に従い、利用しなければならない。

(利用の禁止)

第7条 館長は、館内利用者が前条の規定に違反したと認めるときは、資料の利用を禁止することができる。

第3章 館外利用

(利用証の交付)

第8条 図書館資料を館外で利用しようとする者(以下「館外利用者」という。)は、館長が指定する証明書を提示して利用証の交付を受けなければならない。ただし、館長が特に認めたときは、この限りでない。

2 利用証の交付の際届け出た事項は、3年ごとに確認を行うものとする。

(利用の方法)

第9条 館外利用者は、利用証を係員に提示して利用しなければならない。

2 利用することができる図書館資料は、館外利用者1人につき10点以内とする。

3 利用期間は、15日以内とする。

4 次の各号に掲げる図書館資料は、利用することができない。

- 一 辞書、事典、年鑑、郷土資料、視聴覚資料及びこれらに準ずるもの
- 二 新聞、官報、公報及び永久保存の逐次刊行物
- 三 寄託図書
- 四 その他館長が特に必要と認めるもの

5 第一項から前項までの規定にかかわらず、館長が特に認めたときはこの限りでない。

(利用証の亡失)

第10条 館外利用者は、利用証を亡失したときは、直ちに館長に届け出なければならない。

2 館外利用者は、利用証の亡失によって生ずる損害の責めを負わなければならない。

(不正使用の禁止)

第11条 館長は、次の各号の一に該当する場合は、利用証の返還を求め、利用を禁止することができる。

- 一 利用証を他人に譲渡又は貸与するなど不正に使用したとき。
- 二 利用した図書館資料を期限内に返納しないとき。

第4章 調査相談

(調査相談)

- 第12条 資料の調査依頼又は利用相談（以下「調査相談」という。）をしようとする者は、その事項を明示して口頭又は文書等により行うことができる。
- 2 館長は、前項の調査相談において適当と認めるものについては、図書館資料を介して行うものとする。

第5章 団体等への貸出し

(配本協力)

- 第13条 市町村立図書館（図書室を有する公民館を含む。）、県立学校及び県立社会教育施設（以下、「公立図書館等」という。）に、その求めに応じて、配本を行うことができる。
- 2 配本を利用しようとする公立図書館等は、配本所を定め、館長へ申し出なければならない。
- 3 利用期間は、12月以内の範囲で、館長が別に定める。

(貸出文庫)

- 第14条 図書館に貸出文庫を設け、各種の団体又は機関（以下「団体等」という。）に図書の貸出しを行うものとする。
- 2 団体等は、貸出文庫を利用しようとするときは、責任者を定めて館長に申し込まなければならない。
- 3 利用期間は、12月以内の範囲で、館長が別に定める。
- 4 利用に要する費用は、団体等の負担とする。

(図書館資料の相互貸借)

- 第15条 他の図書館等との図書館資料の相互貸借については、館長が別に定める。

第6章 資料の寄贈及び寄託

(寄贈及び寄託)

- 第16条 館は、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。
- 2 館は、寄託を受けた資料が天災その他の不可抗力により滅失又は損傷したときは、損害賠償の責めを負わない。
- 3 寄託に要する費用は、寄託者の負担とする。ただし、館長が必要と認めたときは、この限りでない。

第7章 雑則

(館長への委任)

- 第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、館長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和60年10月19日から施行する。

附 則

(平成5年3月17日教育委員会規則第3号)

- 1 この規則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行前にこの規則による改正前の熊本県立図書館利用規則の規定により交付を受けた利用証は、この規則による改正後の熊本県立図書館利用規則の規定により交付を受けた利用証とみなす。

附 則

(平成11年8月18日教育委員会規則第6号)

この規則は、平成11年9月1日から施行する。

附 則

(平成12年5月24日教育委員会規則第13号)

この規則は、交付の日から施行する。

附 則

(平成14年3月15日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

(平成16年3月29日教育委員会規則第1号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

(平成19年3月23日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

(平成20年3月17日教育委員会規則第7号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

(平成28年1月12日教育委員会規則第2号)

この規則は、平成28年1月28日から施行する。

開館時間

第1・第2閲覧室

月曜日・水曜日～金曜日 9:30～19:00
土・日・祝 9:30～17:15

子ども図書室・視聴覚室・くまもと文学・歴史館

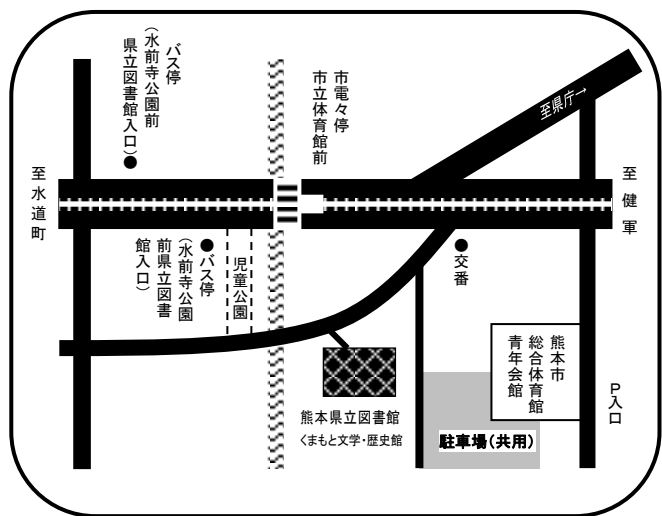
水曜日～月曜日 9:30～17:15
土・日・祝 9:30～17:15

休館日

- ・火曜日（祝日に当たる時は、その翌日）
- ・館内整理日（毎月最終金曜日）
- ・年末年始（12月28日～1月3日）
- ・特別整理期間（年間14日以内）

交通案内

- ・JR 熊本駅から路面電車又はバスで約30分
- ・JR 新水前寺駅からバス・路面電車に乗換約5分
または徒歩約20分
- ・バス 水前寺公園前・県立図書館入口下車
- ・路面電車 市立体育館前下車
停留所から徒歩約5分
- ・駐車場 熊本市総合体育館裏（兼用）



令和3年度（2021年度）要覧

発行日 令和3年（2021年）5月

発行 熊本県立図書館

くまもと文学・歴史館

〒862-8612

熊本市中央区出水2丁目5番1号

TEL 096-384-5000

FAX 096-385-4214（総務課・学芸調査課）

096-385-2983（情報支援課）

URL <https://www2.library.pref.kumamoto.jp/>

